

令和元年度
足立区政モニターアンケート
調査報告書

《消費増税について》



足立区 政策経営部 広報室 区政情報課

目次

第1章 調査の概要	1
1 調査の目的	2
2 調査の時期	2
3 今回の区政モニター数、回答者数.....	2
4 回答者の構成.....	3
5 報告書の見方.....	3
第2章 調査結果の概要及び所管意見	5
● 設問体系と回答の概要	6
● 所管意見まとめ.....	8
第3章 調査結果の分析	15
1 食料品購入時の最頻利用場所について	16
1-1 食料品購入時の最頻利用場所.....	17
2 消費税増税の生活への影響について.....	18
2-1 生活への消費税増税の影響実感.....	19
2-2 増税への影響を実感するところ.....	20
3 増税前（9月まで）の駆け込み購入や買いだめについて.....	21
3-1 消費税増税前（9月まで）の駆け込み購入や買いだめの有無.....	22
3-2 増税前（9月まで）に買いだめた日常生活商品.....	23
3-3 増税前（9月まで）に買いだめた生活商品の平均量.....	24
3-4 増税を理由に9月までに購入・利用した高額の商品・サービス.....	25
4 増税後（10月以降）の商品の買い控え・サービスの利用控えについて.....	26
4-1 増税後（10月以降）の商品の買い控え・サービスの利用控えの有無.....	27
4-2 増税を理由に買い控えている商品やサービス.....	28
5 キャッシュレス決済手段について.....	29

5-1	キャッシュレス決済手段の利用有無	30
5-2	現在利用しているキャッシュレス決済手段	31
5-3	消費税増税を機に利用し始めたキャッシュレス決済手段	32
5-4	今後利用したいと思うキャッシュレス決済手段	33
6	足立区に期待する増税の影響軽減支援策	34
6-1	足立区に期待する増税の影響軽減支援策	35
7	「消費税増税」についての意見	37
●	アンケートの有効度	43
第4章	調査票	45
●	使用した調査票	46

第1章 調査の概要

第1章 調査の概要

1 調査の目的

令和元年10月に消費税が増税され、増税にあわせて軽減税率制度が導入されました。

今回、消費税増税に対する区民のみなさまの意識や消費行動等への影響を把握し、今後の施策に活かしていくために、調査を実施いたしました。

2 調査の時期

令和2年2月12日（水）～3月9日（月）

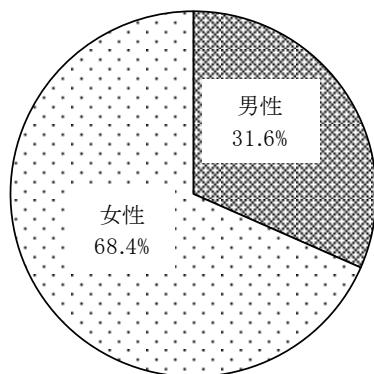
3 今回の区政モニター数、回答者数

区政モニター数	190人
回答者数	177人（回収率93.2%）
[内訳] 郵便回答	101人
インターネット回答	76人

4 回答者の構成

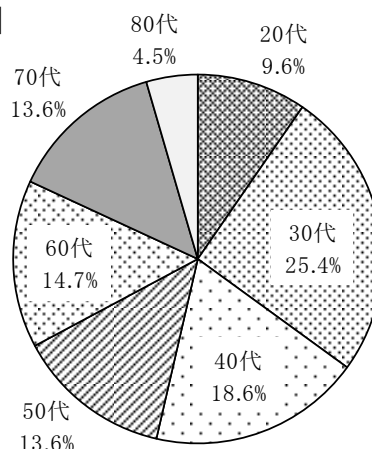
(1) 性別、年代別割合

【性別】



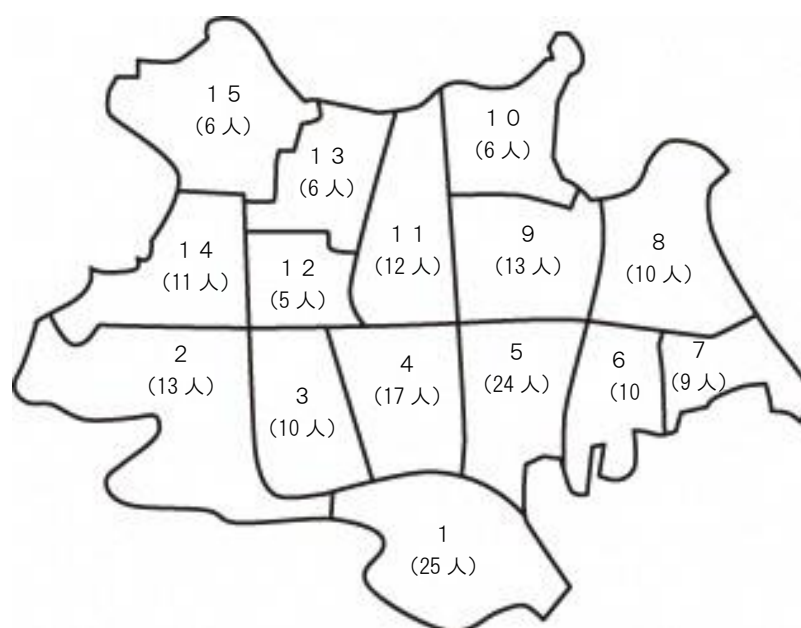
回答者数=(177)

【年代】



回答者数=(177)

(2) 地域別回答者人数 (上段：地域番号、下段：人数)



5 報告書の見方

(1) 回答比率 (%) は、その設問の回答者を基礎として算出しました。小数点第2位を四捨五入して小数点第1位まで示したもので、比率の合計が 100.0%に満たない、または上回る場合があります。

(2) 複数回答の設問は、すべての比率を合計すると 100.0%を超えます。

第1章 調査の概要

- (3) 選択肢の表記は、グラフ・数表では全文言記載を基本としていますが、一部の設問の選択肢の表記においては、回答内容を分かりやすくするために括弧内に語句を追加表記している場合があります。一方、分析コメントにおいては、逆に、調査票の選択肢の括弧内の語句を簡略化や省略している場合があります。
- (4) 本報告書に掲載しているクロス集計は、10才刻みの「年代別」、および、20代と30代を合わせた20・30代（若年代層）、40代と50代を合わせた40・50代（中年代層）、60代から80代を合わせた60代以上（高年代層）の3層からなる「年代層別」の2種類です。10才刻みの「年代別」については、複数の年代でサンプル数が30未満と少数であるため、参考値としての掲載にとどめ、クロス集計の分析では主に「年代層別」について言及しています。

第2章 調査結果の概要及び所管意見

● 設問体系と回答の概要

1-1 食料品購入時の最頻利用場所 . . . P17

- ・ 「スーパーマーケット（実店舗）」76.3%
- ・ 「ショッピングセンター（各種店舗が集積する商業施設）」7.9%
- ・ 「自宅周辺の小規模店」4.0%

2-1 生活への消費税増税の影響実感 . . . P19

- ・ 「影響を感じる」62.1%
- ・ 「変わっていない（影響は感じない）」27.1%

2-2 増税の影響を実感するところ . . . P20

- ・ 「全般的に節約を心掛けるようになった」70.0%
- ・ 「ポイントの還元率を気にするようになった」42.7%
- ・ 「軽減税率を気にするようになった」40.0%

3-1 消費税増税前（9月まで）の駆け込み購入や買いだめの有無 . . . P22

- ・ 「はい（駆け込み購入や買いだめあり）」43.5%
- ・ 「いいえ（駆け込み購入や買いだめなし）」55.9%

3-2 増税前（9月まで）に買いだめた日常生活商品 . . . P23

- ・ 「洗剤類」58.4%
- ・ 「ティッシュ・トイレットペーパー」55.8%
- ・ 「化粧品類」35.1%
- ・ 「紙おむつ」24.7%

3-3 増税前（9月まで）に買いだめた生活商品の平均量 . . . P24

- ・ 「1カ月分程度」62.3%
- ・ 「1週間分程度」13.0%

3-4 増税を理由に9月までに購入・利用した高額の商品・サービス . . . P25

- ・ 「生活家電（冷蔵庫、洗濯機、電子レンジなど）」23.4%
- ・ 「趣味・レジャー用品」15.6%
- ・ 「家具・インテリア用品」13.0%
- ・ ※「購入・利用した高額商品・サービスはない」18.2%
- ・ ※「無回答」18.2%

4-1 消費税増税後(10月以降)の商品の買い控え・サービスの利用控えの有無・・・P27

- ・ 「はい(増税後の買い控えあり)」35.0%
- ・ 「いいえ(増税後の買い控えなし)」65.0%

4-2 増税を理由に買い控えている商品やサービス・・・P28

- ・ 「衣類」54.8%
- ・ 「趣味・レジャー用品」41.9%
- ・ 「電化製品(冷蔵庫、テレビ、カメラ、スマートフォン、PC等)」32.3%
- ・ 「ビール類・お酒」27.4%

5-1 キャッシュレス決済手段の利用有無・・・P30

- ・ 「はい(利用している)」80.2%
- ・ 「いいえ(利用していない)」19.8%

5-2 現在利用しているキャッシュレス決済手段・・・P31

- ・ 「クレジットカード」93.0%
- ・ 「電子マネー(交通系ICカードなど)」72.5%
- ・ 「スマートフォンによるバーコード/二次元コード決済」35.2%

5-3 消費税増税を機に利用し始めたキャッシュレス決済手段・・・P32

- ・ 「新たに利用を始めた決済手段はない」66.2%
- ・ 「スマートフォンによるバーコード/二次元コード決済」25.4%
- ・ 「クレジットカード」3.5%
- ・ ※【新たに利用を始めた決済手段あり(計)】29.6%

5-4 今後利用したいと思うキャッシュレス決済手段・・・P33

- ・ 「今後もキャッシュレス決済を利用するつもりはない」48.6%
- ・ 「電子マネー(交通系ICカードなど)」25.7%
- ・ 「クレジットカード」17.1%
- ・ ※【今後利用したいと思う決済手段あり(計)】45.7%

6-1 足立区に期待する増税の影響軽減支援策・・・P35

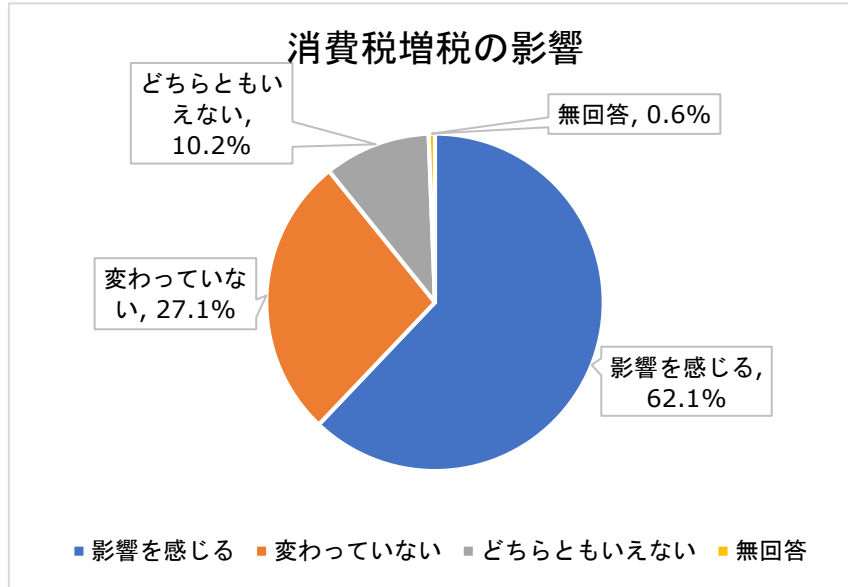
- ・ 「キャッシュレス決済が使える店舗を増やす取り組み」58.2%
- ・ 「商店街などで使えるプレミアム商品券の発行」53.1%
- ・ 「節税対策やポイント還元について学べるセミナーなどの開催」23.2%

● 所管意見まとめ

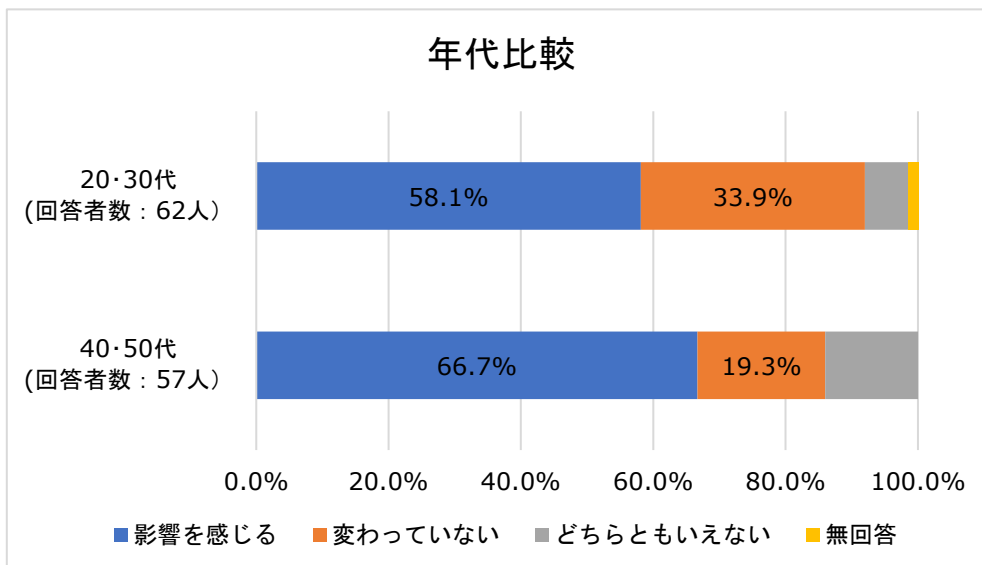
1 今回の調査結果の概要

(1) 消費税増税の生活への影響について

- ・ 「影響を感じる」という人が全体の6割強を占めて、3割弱にとどまる「変わっていない(影響は感じない)」という人を大きく上回っている。

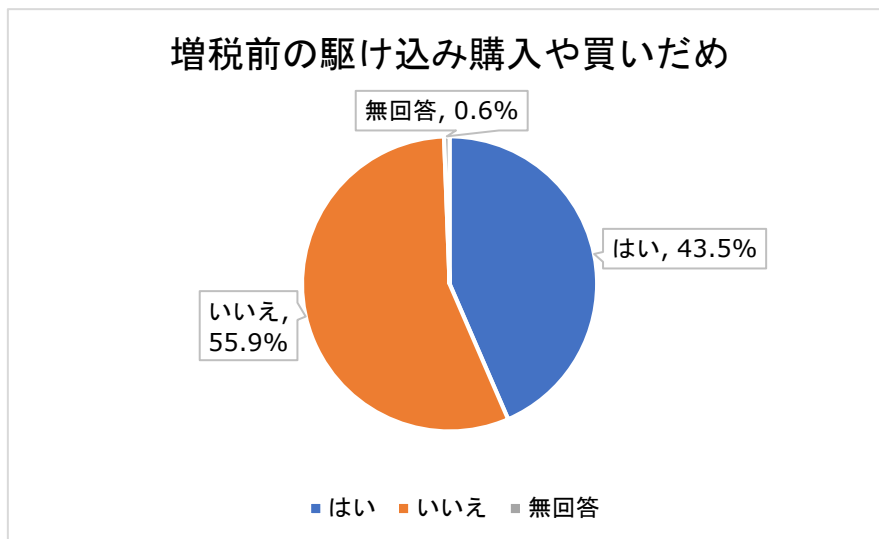


- ・ 「変わっていない(影響は感じない)」という人の割合は、20・30代の若年代層で3割台半ばとやや高く、40・50代の中年代層で2割弱とやや低くなっている。

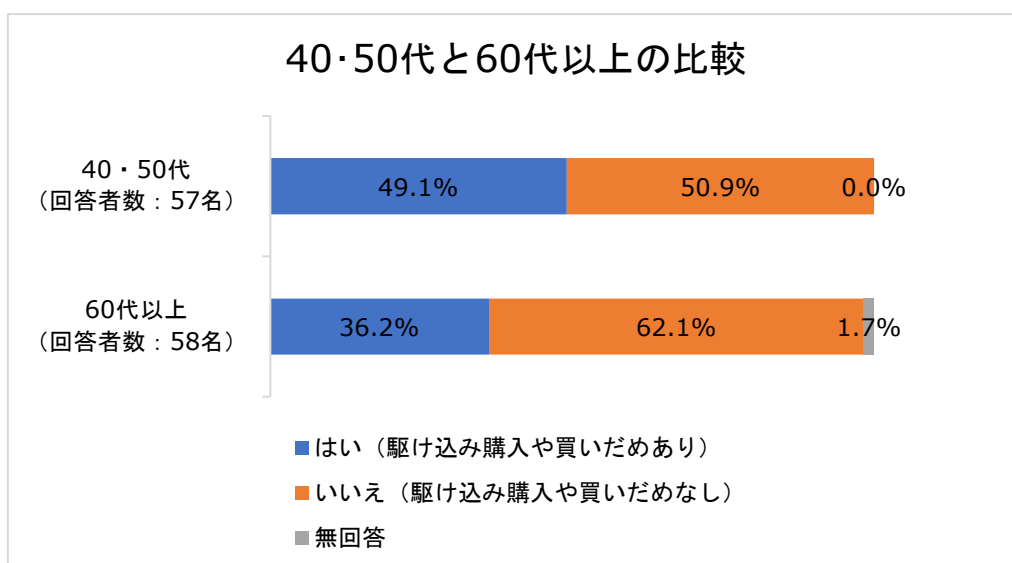


(2) 増税前（9月まで）の駆け込み購入や買いだめについて

- ・ 「いいえ（駆け込み購入や買いだめなし）」が5割台半ばを占めて、4割台前半の「はい（駆け込み購入や買いだめあり）」を12ポイント上回っている。

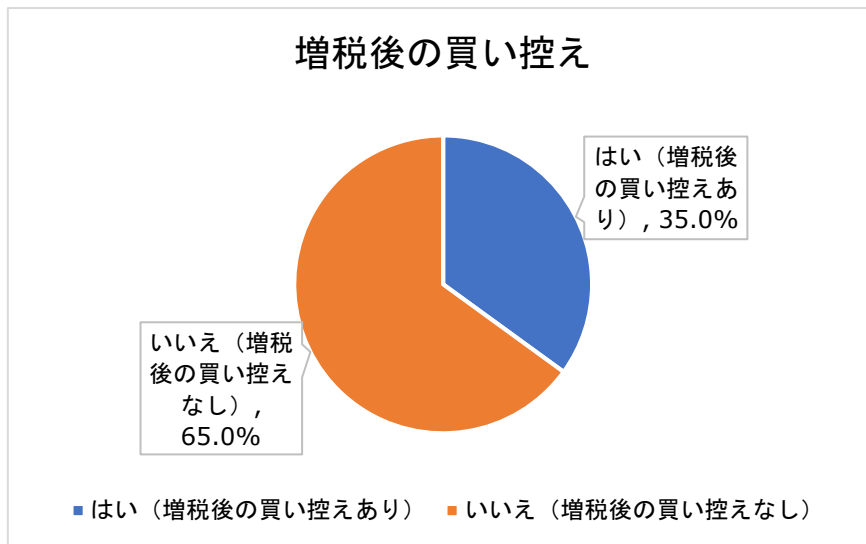


- ・ 「はい（駆け込み購入や買いだめあり）」の割合は、40・50代の中年代層で5割弱と高く、60代以上の高年代層で3割台半ばと低めになっている。



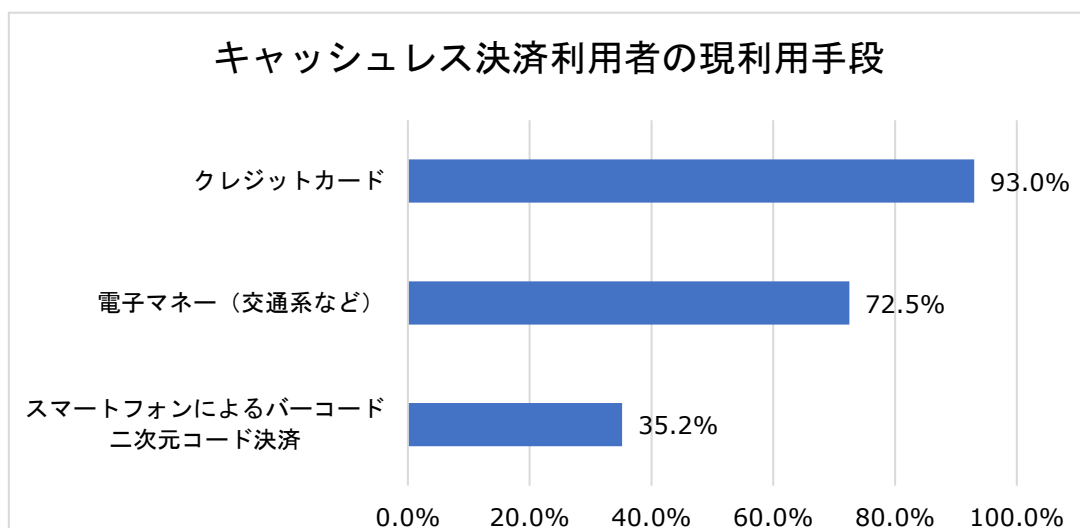
(3) 増税後（10月以降）の商品買い控え・サービス利用控えについて

- ・ 「いいえ（増税後の買い控えなし）」が6割台半ばを占めて多く、3割台半ばにとどまる「はい（増税後の買い控えあり）」を30ポイント上回っている。



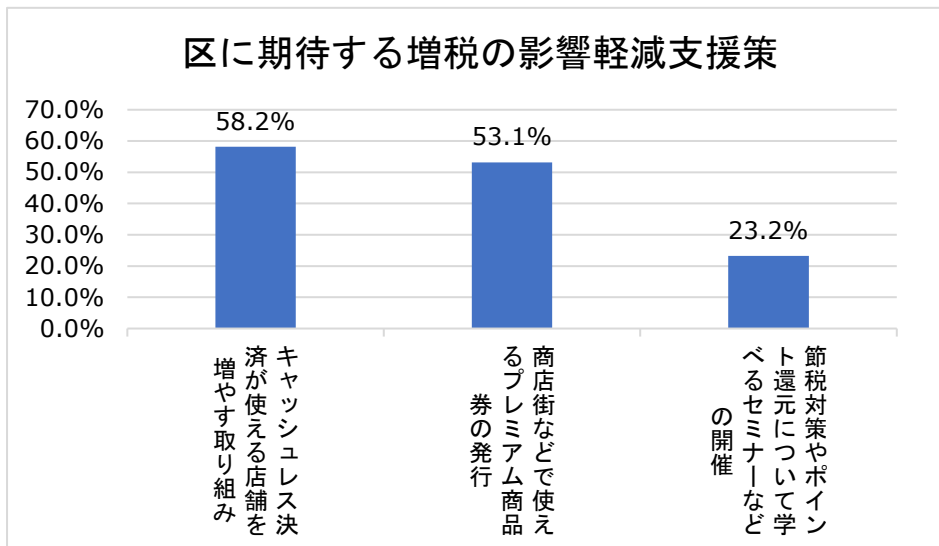
(4) キャッシュレス決済手段

- ・ キャッシュレス決済の利用者は80.2%であり、利用者の現利用キャッシュレス手段では、「クレジットカード」が9割強で最も高く、「電子マネー（交通系ICカードなど）」が7割強で続き、この二つが中核となっている。



(5) 足立区に期待する増税の影響軽減支援策

- ・ 「キャッシュレス決済が使える店舗を増やす取り組み」が6割弱、「商店街などで使えるプレミアム商品券の発行」が5割強で、この2項目はともに半数を超えている。



2 結果分析及び今後の方針

(1) 消費税増税の消費者への影響全般について

- ・ 東京都信用金庫協会が令和元年9月に実施した調査（区内事業者対象530社）において、「消費税引上げに伴う売上への影響について」聞いたところ、「どちらともいえない」（35.0%）、「わからない」（30.9%）、「影響はない・変わらない」（13.3%）という結果であった。
- ・ 今回、消費者への影響度については、増税が生活への「影響を感じる」が62.1%で、「変わっていない（影響を感じない）」割合は若年代層で33.9%とやや高かったものの、影響を感じている消費者が多い結果となった。
- ・ 増税前（9月まで）の駆け込み購入や買いだめは日用品が多く、落ち着いた対応が取られている。

(2) キャッシュレス決済などについて

- ・ キャッシュレス決済は従来のクレジットカード、電子マネー（交通系など）が圧倒的に多く、最近のスマートフォン（バーコード・二次元コード）は35.2%でまだまだ利用は進んでいない。
- ・ ポイント還元などのサービスがあるためか「キャッシュレス決済が使える店舗を増やす取り組み」が区に期待する支援策として1番多い結果となった。

(3) プレミアム商品券など区の支援策について

ア 消費者が期待する支援策の年代差

- ・ 区に期待する支援策として、「商店街などで使えるプレミアム商品券の発行」（53.1%）は「キャッシュレス決済が使える店舗を増やす取り組み」（58.2%）より5ポイント低くなっている。
- ・ 「キャッシュレス決済が使える店舗を増やす取り組み」は、20・30代の若年代層（72.6%）で高く、「商店街などで使えるプレミアム商品券の発行」は70代（70.8%）以上で高くなっており、年代差が顕著である。

イ キャッシュレス決済に関する商店街の実態

- ・ 令和元年10月に東京都内の全商店街（2,447商店街）を対象に行われた東京都商店街実態調査において、「商店街が抱えている問題」として、「後継者が不足している」（68.4%）、「商店街に集客の核となる店舗がない、あるいは弱い」（43.6%）が上位になる中、「キャッシュレス決済への対応が遅れている」と答えた割合が10.0%と低い割合であった。
- ・ さらに同調査では、「商店街を活性化させていくために必要なこと」として、「会員の協力」（47.2%）、「後継者の育成」（47.1%）、「個店

の努力」(35.9%)などが上位に並ぶが、「キャッシュレス決済の導入促進」はわずか5.7%という結果であった。

ウ 今後の支援策について

- ・ 上記ア、イから、キャッシュレス決済に興味を持っている商店街の割合は総じて低く、そのことがキャッシュレス決済を望む若い世代の集客につながらないという負のスパイラルが生じていることが想定される。
- ・ 増税直後の消費者支援はプレミアム率アップの商品券でしっかりと行いつつ、今後のキャッシュレス時代に向けた商店街支援、消費者支援のあり方について検討していく。

第3章 調査結果の分析

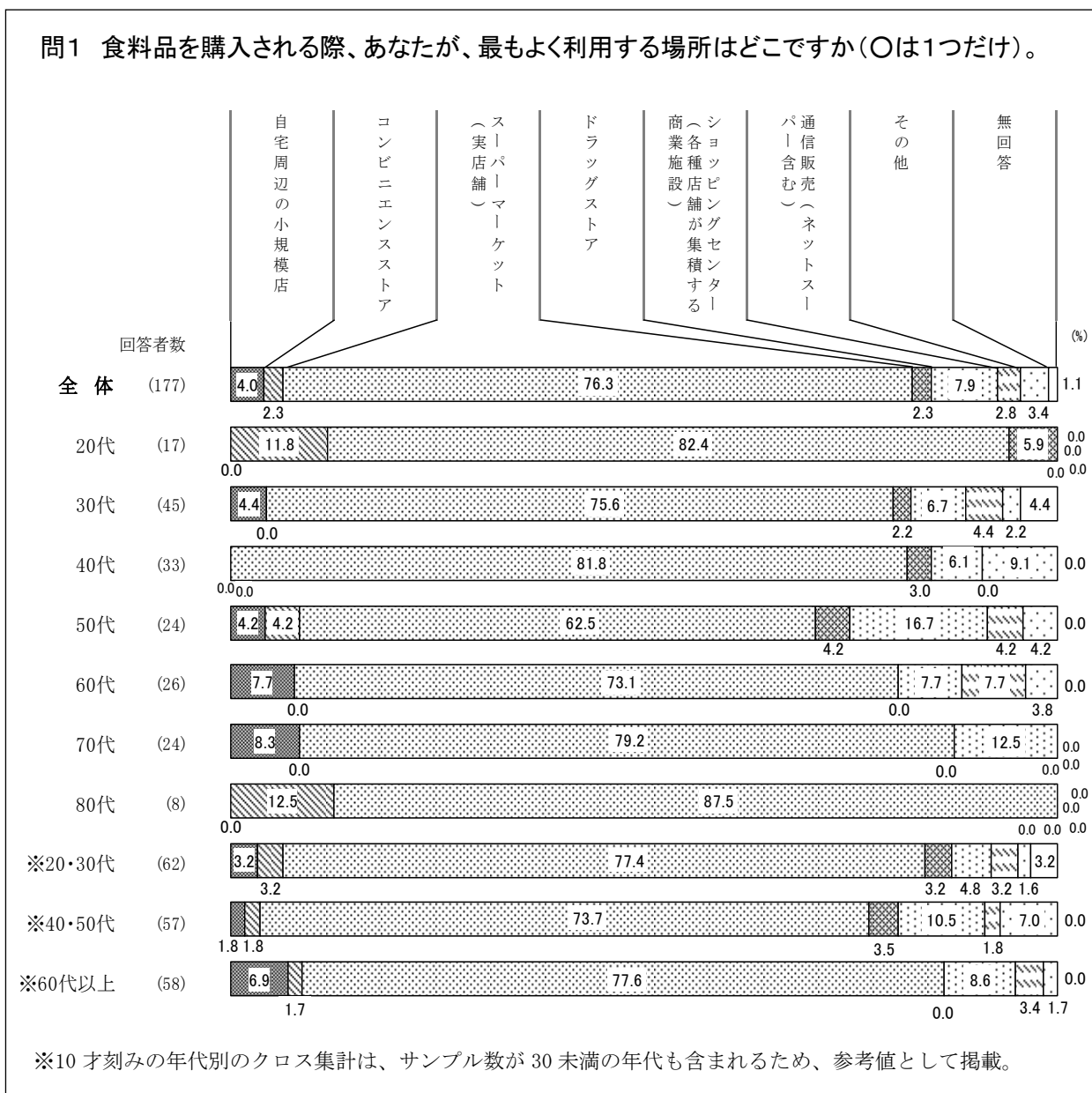
1 食料品購入時の最頻利用場所について

【現状】

食品購入時の最頻利用場所（問1）【回答者数 177名】

- 「スーパーマーケット（実店舗）」を挙げる人が、全体の7割台半ばを占めて多く、以下は大きく離れて「ショッピングセンター（各種店舗が集積する商業施設）」が1割弱で続く。
- 年代層別にみても、「スーパーマーケット（実店舗）」が各層で7割台を占めて圧倒的に多い傾向は変わらないものの、60代以上の高年代層では「自宅周辺の小規模店」の割合が相対的にやや高めとなっている。

1-1 食料品購入時の最頻利用場所



- 食料品購入時の最頻利用場所を聞いたところ、「スーパーマーケット(実店舗)」(76.3%)が全体の3/4を占めて圧倒的に多く、以下いずれも1割未満で「ショッピングセンター(各種店舗が集積する商業施設)」(7.9%)、「自宅周辺の小規模店」(4.0%)などが続く。
- 年代層別にみると、「スーパーマーケット(実店舗)」がすべての層において7割台半ばから7割台後半で多数を占めるが、60代以上の高年代層では「ドラッグストア」の挙名はなく、「自宅周辺の小規模店」が6.9%とほかの層に比べてやや高めとなっている。

2 消費税増税の生活への影響について

【現状】

生活への消費税増税の影響実感（問2）【回答者数 177 名】

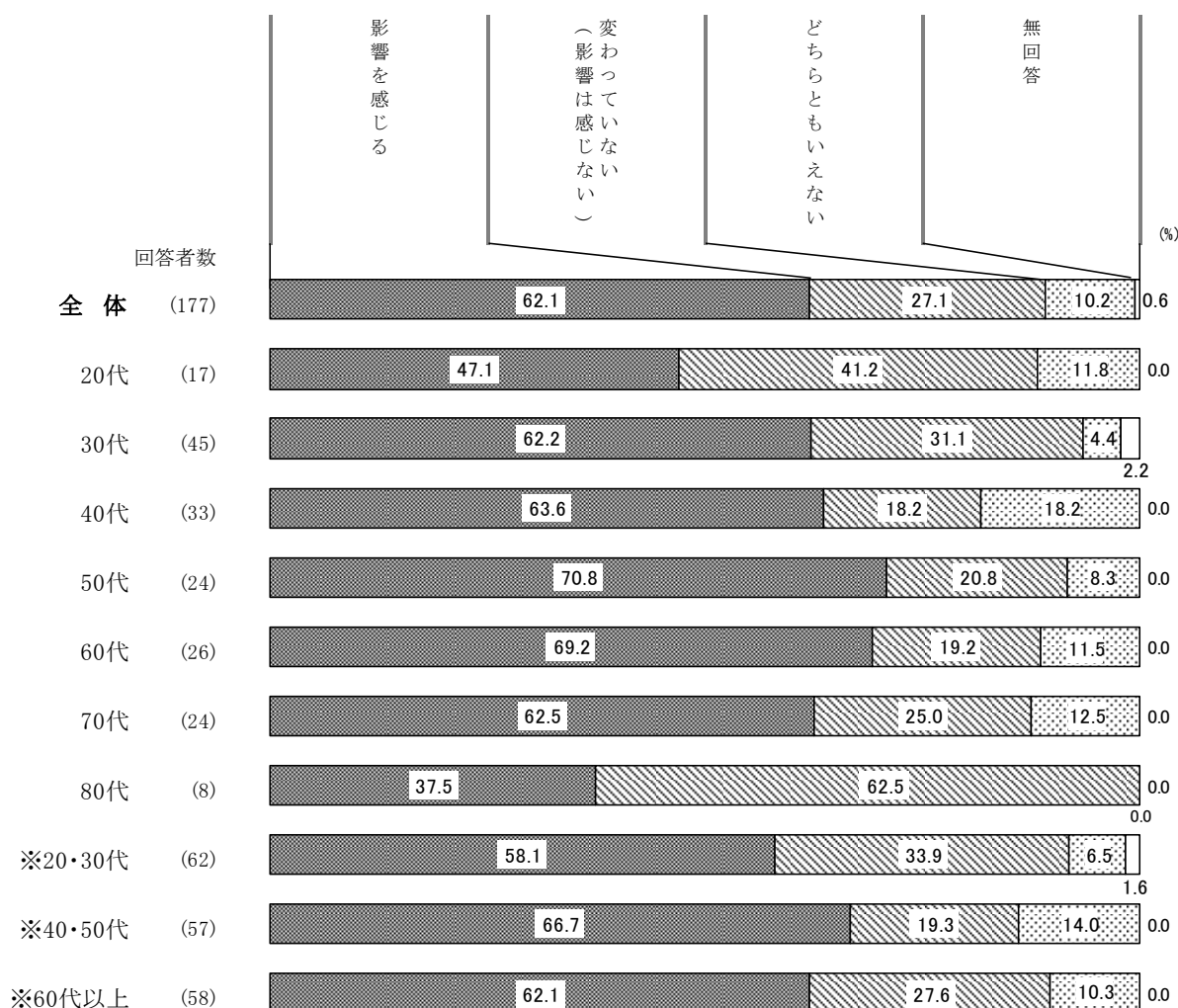
- 「影響を感じる」という人が全体の6割強を占めて、3割弱にとどまる「変わっていない（影響は感じない）」という人を大きく上回っている。
- 「変わっていない（影響は感じない）」という人の割合は、20・30代の若年代層で3割台半ばとやや高く、40・50代の中年代層で2割弱とやや低くなっている。

増税の影響を実感するところ（問2-1）【回答者数 110 名】

- 「全般的に節約を心掛けるようになった」が7割に達してトップに挙げられ、影響を感じる人の3人に2人以上が節約を心掛けるようになったことで増税されたことを実感している。また、「ポイントの還元率を気にするようになった」や「軽減税率を気にするようになった」ことで増税を実感している人もそれぞれ4割程度みられる。

2-1 生活への消費税増税の影響実感

問2 10月の消費税増税導入後、消費活動をされる際に、あなたの生活に増税の影響をお感じになりますか(○は1つだけ)。



※10才刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

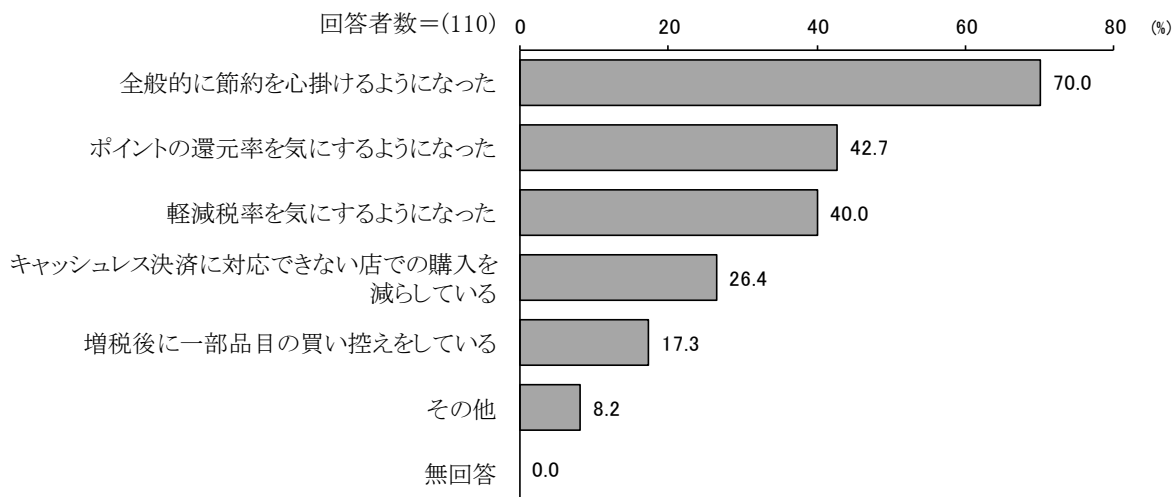
- 消費税増税の影響を感じるか聞いたところ、「影響を感じる」(62.1%)が6割強を占めて多く、「変わっていない(影響は感じない)」(27.1%)は3割弱となっている。
- 年代層別にみると、40・50代の中年代層で「影響を感じる」(66.7%)と「変わっていない(影響は感じない)」(19.3%)の格差(47.4ポイント)が最も大きくなっている。

2-2 増税への影響を実感するところ

問2で「1 影響を感じる」とお答えの方に

問2-1 あなたの生活の中で、どのようなところに増税の影響を実感しますか

(あてはまるものにすべて○)。



- 10月以降の消費生活に消費税増税の「影響を感じる」と回答した人に対して、どのようなところに影響を感じるかを聞いたところ、「全般的に節約を心掛けるようになった」(70.0%)が7割に達して最も高く、以下「ポイントの還元率を気にするようになった」(42.7%)と「軽減税率を気にするようになった」(40.0%)が4割台、「キャッシュレス決済に対応できない店での購入を減らしている」(26.4%)が2割台半ばの順に続いている。

3 増税前(9月まで)の駆け込み購入や買いだめについて

【現状】

消費税増税前(9月まで)の駆け込み購入や買いだめの有無(問3) 【回答者数 177名】

- 「いいえ(駆け込み購入や買いだめなし)」が5割台半ばを占めて、4割台前半の「はい(駆け込み購入や買いだめあり)」を12ポイント上回っている。
- 「はい(駆け込み購入や買いだめあり)」の割合は、40・50代の中年代層で5割弱と高く、60代以上の高年代層で3割台半ばと低めになっている

増税前(9月まで)に買いだめした日常生活商品(問3-1) 【回答者数 77名】

- 増税前に駆け込み購入や買いだめした日常生活商品をみると、「洗剤類」と「ティッシュ・トイレットペーパー」がそれぞれ5割台後半で高く、これらに「化粧品類」が3割台半ばで続き上位で、以下「紙おむつ」「食料品」「医薬品・医薬部外品」がそれぞれ2割台前半で並んで続く結果。

増税前に買いだめした生活商品の平均量(問3-2) 【回答者数 77名】

- 増税前に駆け込み購入や買いだめした日常生活商品の平均量を聴いた結果は、「1か月分程度」が6割強を占めて多く、「1週間分程度」「1年分程度」「その他」はそれぞれ1割強程度の分布となっている。

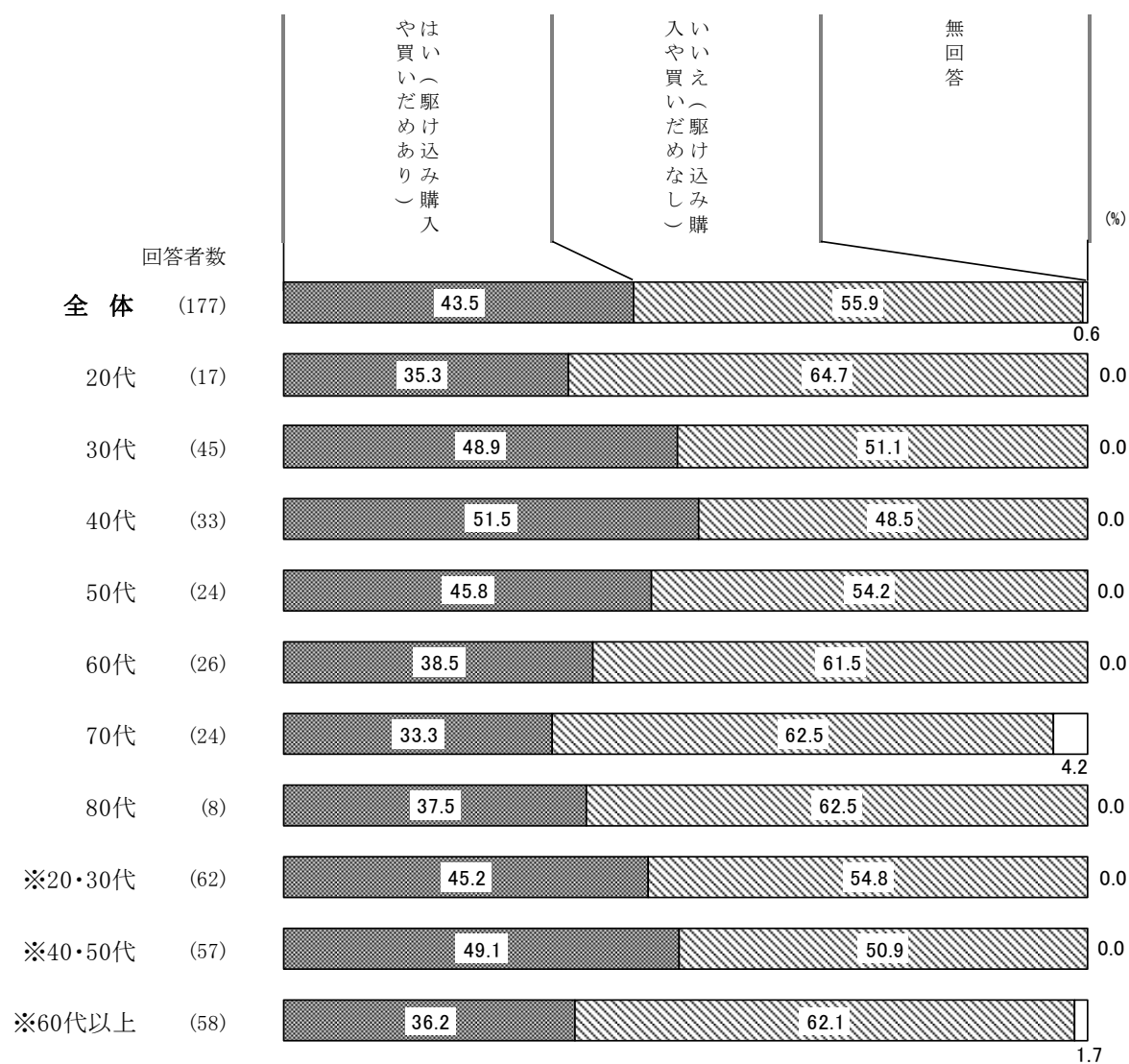
増税を理由に9月までに購入・利用した高額商品・サービス(問3-3)

【回答者数 77名】

- 増税前に駆け込み購入や買いだめしたと回答した人に、増税前に購入・利用した高額の商品やサービスを聴いた結果は、「生活家電(冷蔵庫、洗濯機、電子レンジなど)」が2割強で最も高く、これに「趣味・レジャー用品」が1割台半ばで続き上位となっているが、「購入・利用した高額商品・サービスはない」と「無回答」もそれぞれ2割弱を占めて多くなっている。

3-1 消費税増税前(9月まで)の駆け込み購入や買いだめの有無

問3 消費税増税前の9月までに、あなたは、商品やサービスについて、駆け込み購入や買いだめをされましたか(○は1つだけ)。



※10才刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

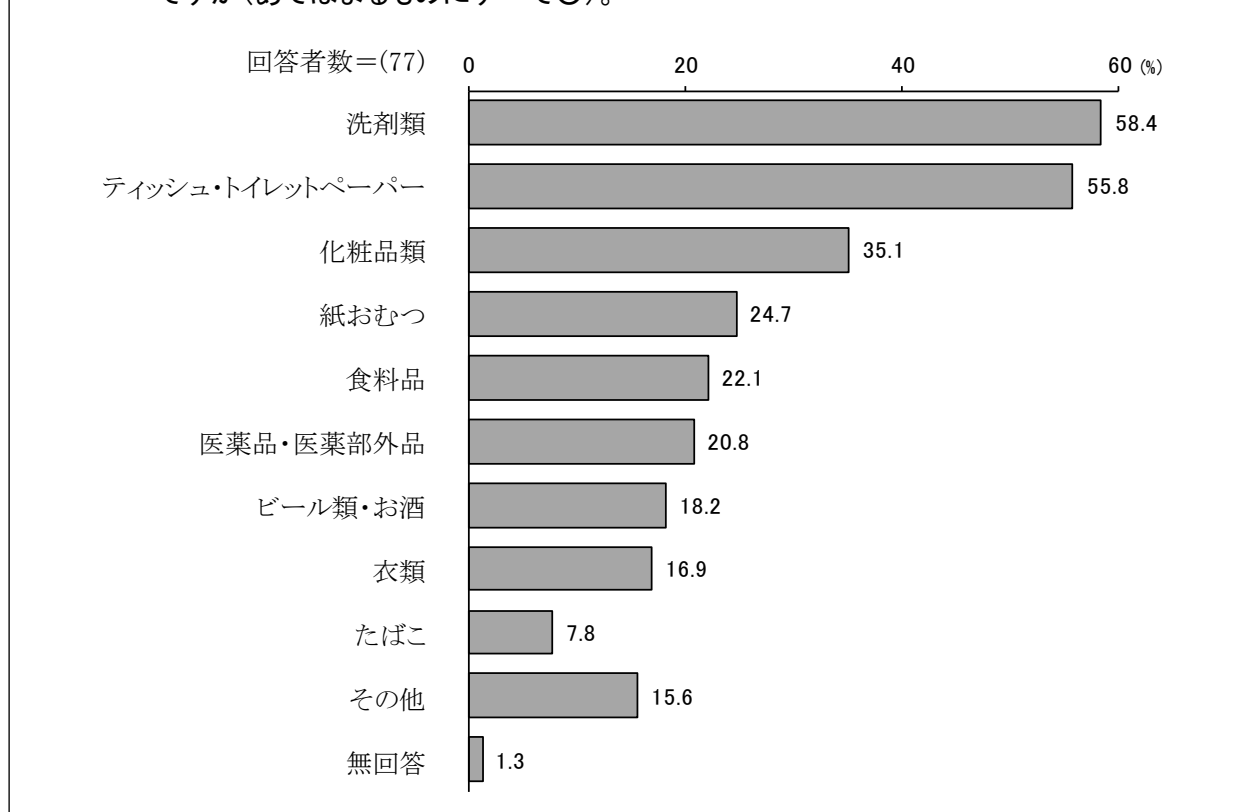
- 消費税増税前の駆け込み購入や買いだめの有無について聞いたところ、「いいえ(駆け込み購入や買いだめなし)」(55.9%)が5割台半ばで、「はい(駆け込み購入や買いだめあり)」(43.5%)を12.4ポイント上回っている。
- 年代層別にみると、60代以上の高年代層は「いいえ」(62.1%)が「はい」(36.2%)を大きく上回っているが、40・50代の中年代層では両者の比率が5割前後の僅差で拮抗している。

3-2 増税前(9月まで)に買いだめした日常生活商品

問3で「1 はい(駆け込み購入や買いだめあり)」とお答えの方に

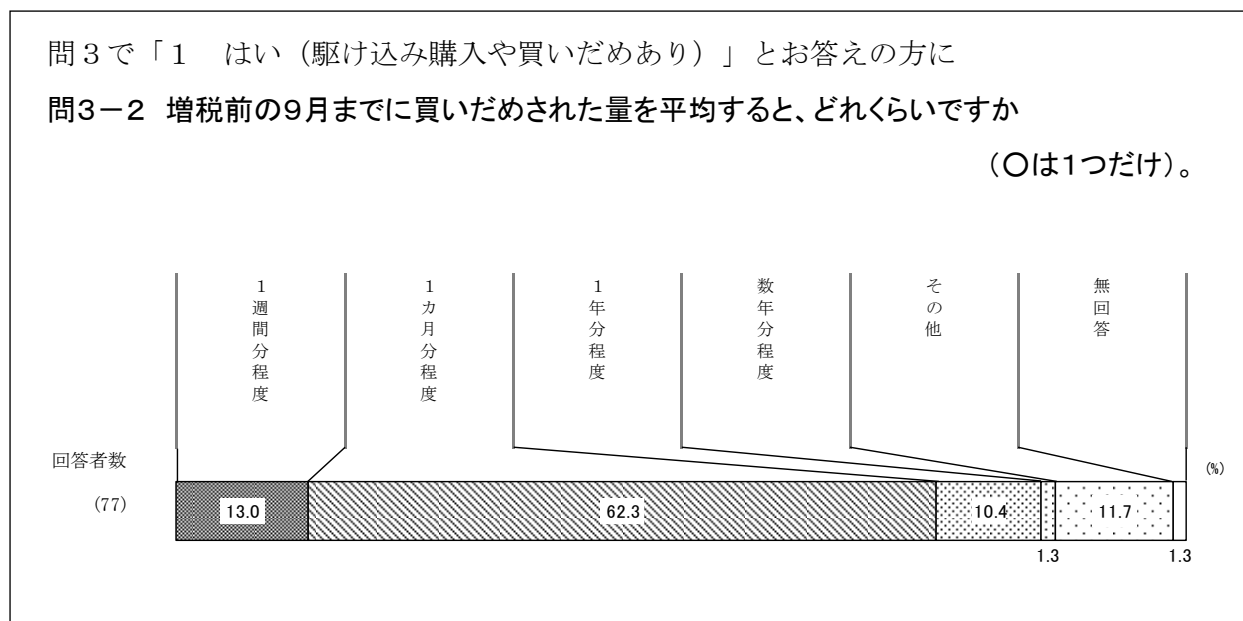
問3-1 日常の生活に関係するものについておうかがいします。

以下にあげた商品のうち、あなたが、増税前の9月までに買いだめされたものはどれですか(あてはまるものにすべて○)。



- 「消費税増税前の駆け込み購入や買いだめあり」と回答した人に対して、買いだめした日常生活商品を聞いたところ、「洗剤類」(58.4%)が6割弱で最も高く、これに「ティッシュ・トイレットペーパー」(55.8%)が5割台半ばでの僅差で続き、以下「化粧品類」(35.1%)、「紙おむつ」(24.7%)、「食料品」(22.1%)などの順となっている。

3-3 増税前(9月まで)に買いだめした生活商品の平均量

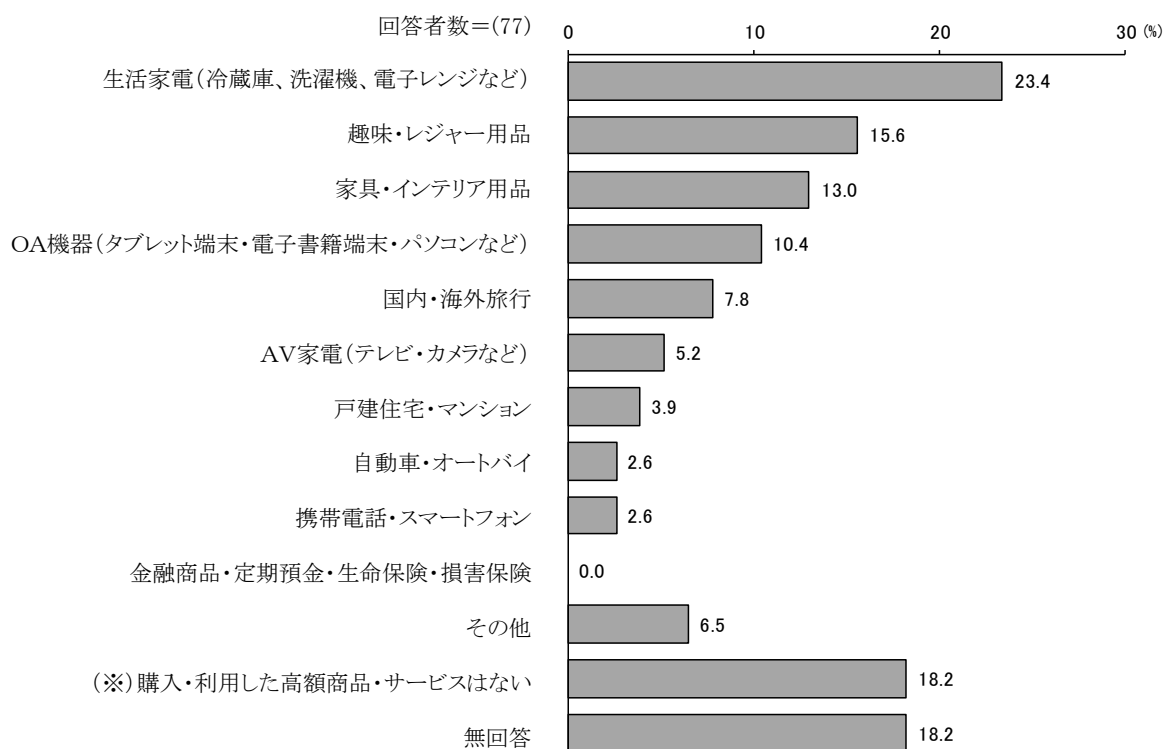


- 「消費税増税前の駆け込み購入や買いだめあり」と回答した人に対して、買いだめした日常生活商品の平均量を聞いたところ、「1カ月分程度」(62.3%)が6割強を占めて最も多くなっている。

3-4 増税を理由に9月までに購入・利用した高額の商品・サービス

問3で「1 はい(駆け込み購入や買いだめあり)」とお答えの方に

問3-3 以下にあげた高額商品やサービスのうち、増税を理由に、あなたが9月までに購入・利用された商品(サービス)はどれですか(あてはまるものにすべて○)。



(※)は、集計の段階で新設した選択肢(集計時の「その他」の内容からまとめてコード化)

- 増税を理由に9月までに購入・利用した高額商品やサービスについて聞いたところ、「生活家電(冷蔵庫・洗濯機・電子レンジなど)」(23.4%)が2割強で最も高く、以下「趣味・レジャー用品」(15.6%)、「家具・インテリア用品」(13.0%)、「OA機器(タブレット端末・電子書籍端末・パソコンなど)」(10.4%)の順が続いている。
- 一方、集計時に選択肢として新設した「購入・利用した高額商品・サービスはない」(18.2%)と「無回答」(18.2%)がそれぞれ2割弱となっており、増税を理由に9月までに高額の商品やサービスを購入・利用した人は、アンケート回答者全体の3割弱程度と思われる。

4 増税後(10月以降)の商品の買い控え・サービスの利用控えについて

【現状】

増税後(10月以降)の商品の買い控え・サービスの利用控えの有無(問4)

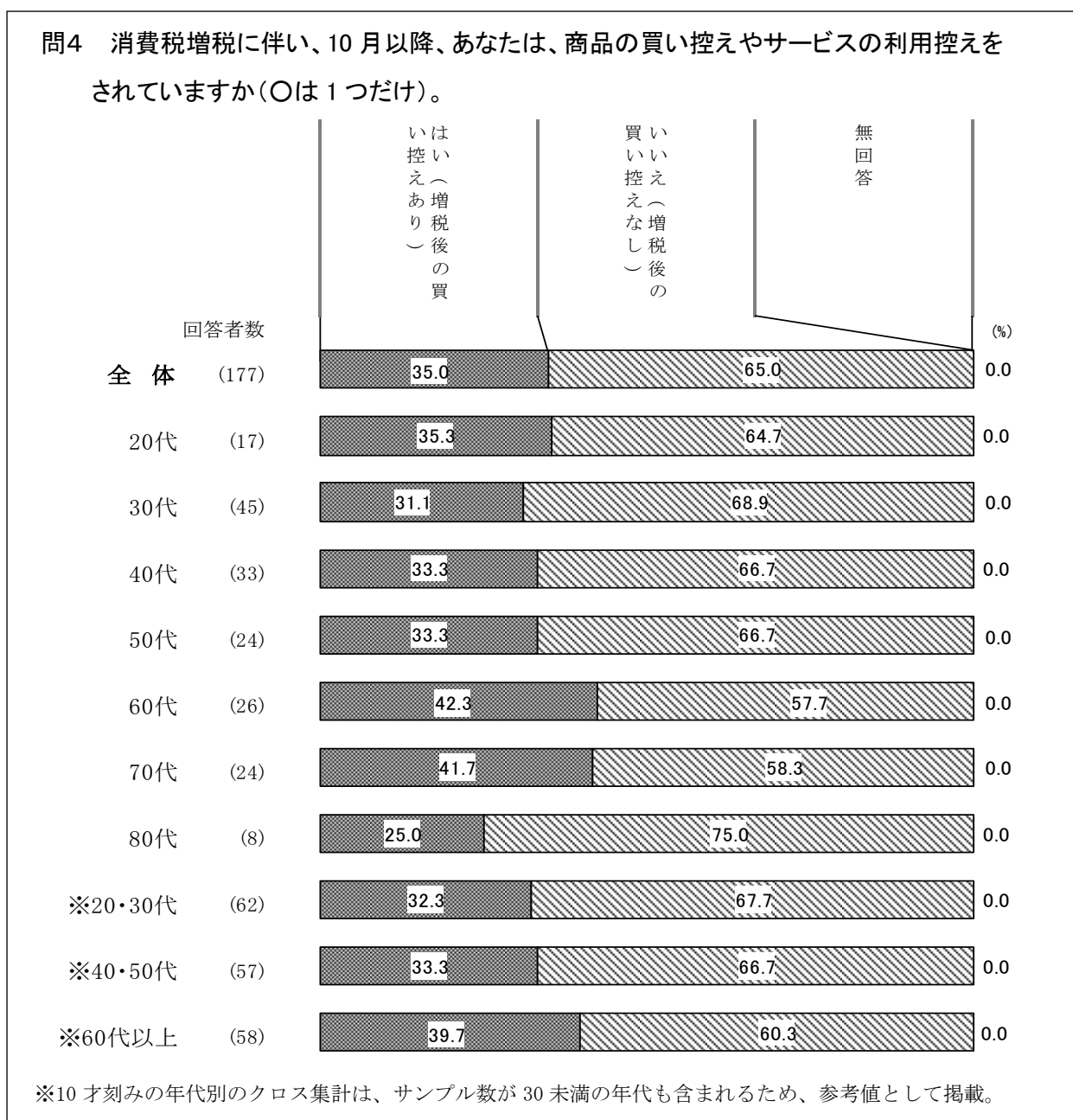
【回答者数 177名】

- 「いいえ(増税後の買い控えなし)」が6割台半ばを占めて多く、3割台半ばにとどまる「はい(増税後の買い控えあり)」を30ポイント上回って中核となっている。

増税を理由に買い控えている商品やサービス(問4-1) 【回答者数 62名】

- 増税後の買い控えがあると回答した人たちに、増税を理由に買い控えている商品・サービスを聞いた結果は、「衣類」が5割台半ばで最も高く、以下「趣味・レジャー用品」が4割強、「電化製品(冷蔵庫、テレビ、カメラ、スマートフォン、PC等)」が3割強で続き上位となっている。

4-1 増税後(10月以降)の商品の買い控え・サービスの利用控えの有無

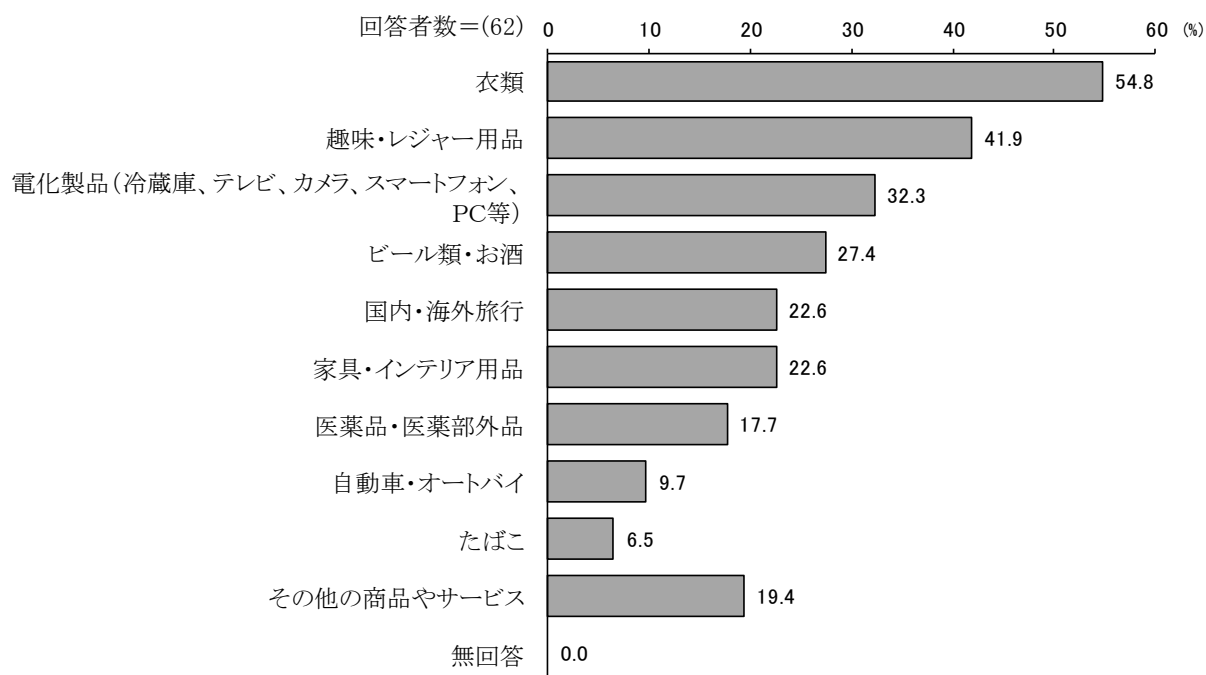


- 増税後(10月以降)の商品の買い控え・サービスの利用控えの有無を聞いたところ、「はい(増税後の買い控えあり)」(35.0%)は3割台半ばにとどまり、「いいえ(増税後の買い控えなし)」(65.0%)が6割台半ばで、「はい」を30ポイント上回って多くなっている。
- 年代層別にみると、60代以上の高年代層で「はい」が39.7%で相対的にやや高くなっている。

4-2 増税を理由に買い控えている商品やサービス

問4で「1 はい(増税後の買い控えあり)」とお答えの方に

問4-1 以下にあげた商品やサービスのうち、あなたが、増税を理由に買い控えられている商品・サービスはどれですか(あてはまるものにすべて○)。



- 「増税後の買い控えあり」と回答した人に対して、買い控えている商品やサービスを聞いたところ、「衣類」(54.8%)が5割台半ばで最も高く、以下「趣味・レジャー用品」(41.9%)、「電化製品(冷蔵庫、テレビ、カメラ、スマートフォン、PC等)」(32.3%)、「ビール類・お酒」(27.4%)と続いている。

5 キャッシュレス決済手段について

【現状】

キャッシュレス決済手段の利用有無（問5）【回答者数 177名】

- 「はい（利用している）」が8割超を占めて多く、ほぼ2割にとどまる「いいえ（利用していない）」を大きく上回っている。
- キャッシュレス決済の利用率は、若年層ほど高く、20・30代の若年代層では9割を超えているが、60代以上の高年代層では7割強にとどまり、年代差が大きめとなっている。

現在利用しているキャッシュレス決済手段（問5-1）【回答者数 142名】

- キャッシュレス決済利用者の現利用キャッシュレス手段では、「クレジットカード」が9割強で最も高く、「電子マネー（交通系ICカードなど）」が7割強で続き、中核。

消費税増税を機に利用し始めたキャッシュレス決済手段（問5-2）【回答者数 142名】

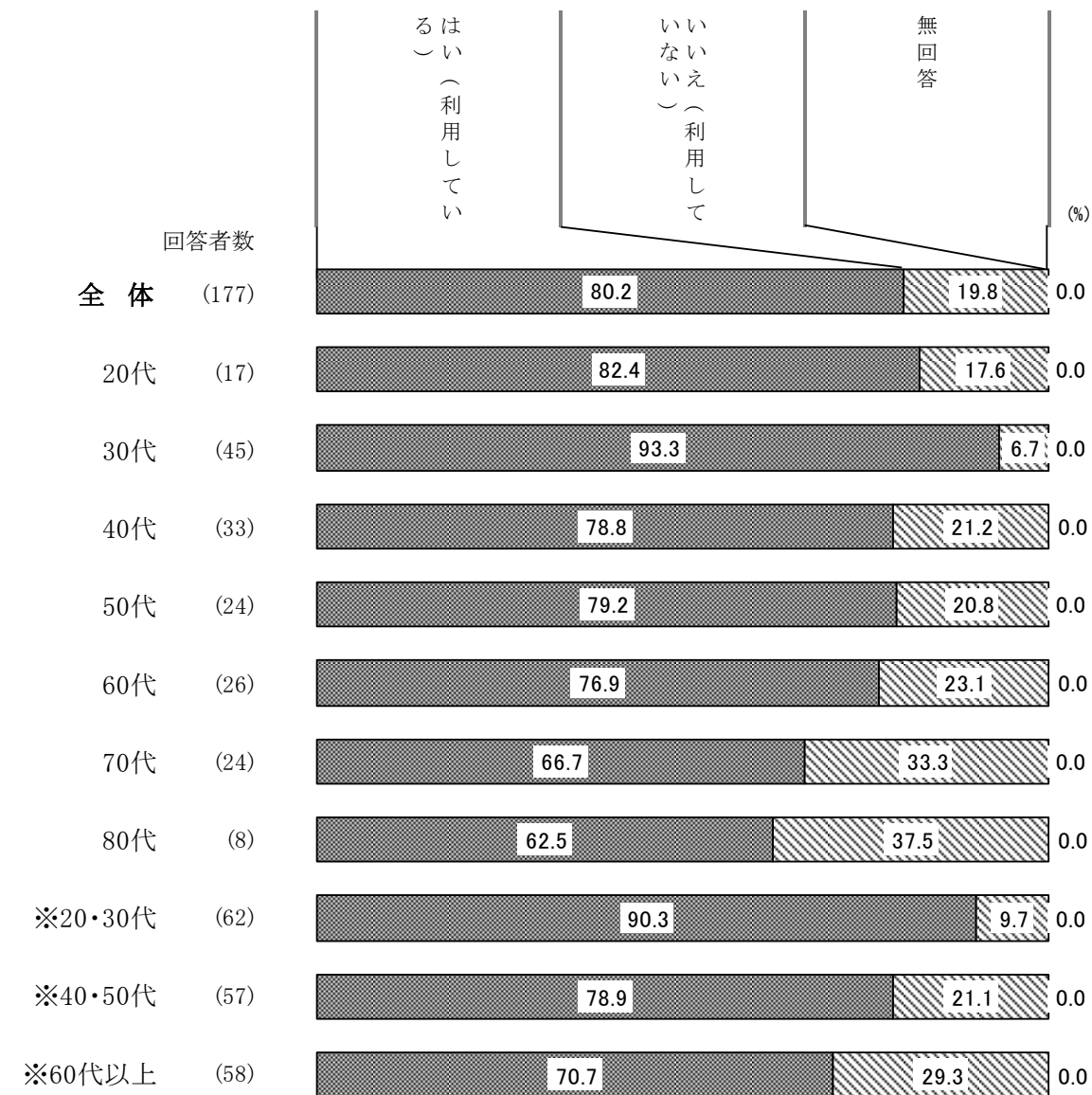
- キャッシュレス決済利用者の3人に2人が「新たに利用を始めた決済手段はない」と回答しているが、ほぼ3割に相当する新たに利用を始めた決済手段のある人の多く（86%相当）が「スマートフォンによるバーコード／二次元コード決済」を挙げており、現在「スマートフォンによるバーコード／二次元コード決済」利用者の7割強が、増税を機にこの決済手段を利用し始めた結果となっている。

（非利用者の）今後利用したいキャッシュレス決済手段（問5-3）【回答者数 35名】

- キャッシュレス決済を現在利用していない人（35名）に、今後利用したいキャッシュレス決済手段を聞いた結果は、「今後も利用するつもりはない」が5割弱、『利用したい手段あり（計）』が4割台半ばで、両者は拮抗しているが、具体的な利用したい決済手段の中では「電子マネー（交通系ICカードなど）」が2割台半ばで最も高く、「スマートフォンによるバーコード／二次元コード決済」は1割にも届かず低めにとどまる。

5-1 キャッシュレス決済手段の利用有無

問5 あなたは、クレジットカードやスマートフォンなどのキャッシュレス決済手段(現金を使わずに支払いをすること)を利用していますか(○は1つだけ)。



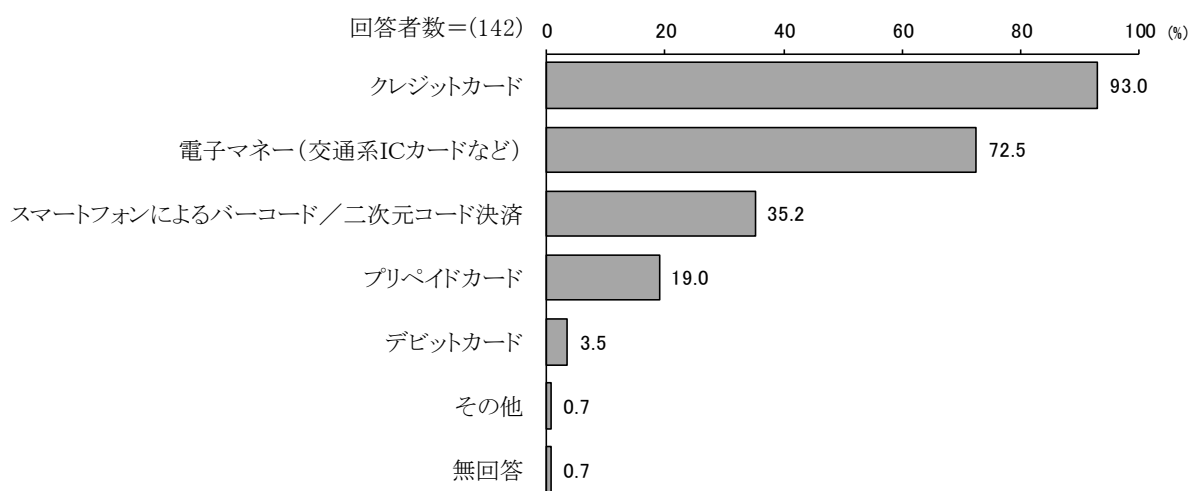
※10才刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

- キャッシュレス決済手段の利用有無を聞いたところ、「はい(利用している)」(80.2%)が8割を占めて多くなっている。
- 年代層別にみると、「はい(利用している)」は20・30代の若年代層(90.3%)で9割を超えて高いのに対して、「いいえ(利用していない)」は、高齢になるほど高くなる傾向がみられ、60代以上の高年代層(29.3%)では3割弱と年代格差がみられる結果となっている。

5-2 現在利用しているキャッシュレス決済手段

問5で「1 はい(利用している)」とお答えの方に

問5-1 以下にあげた決済手段のうち、あなたが、現在利用されている決済手段はどれですか
(あてはまるものにすべて○)。

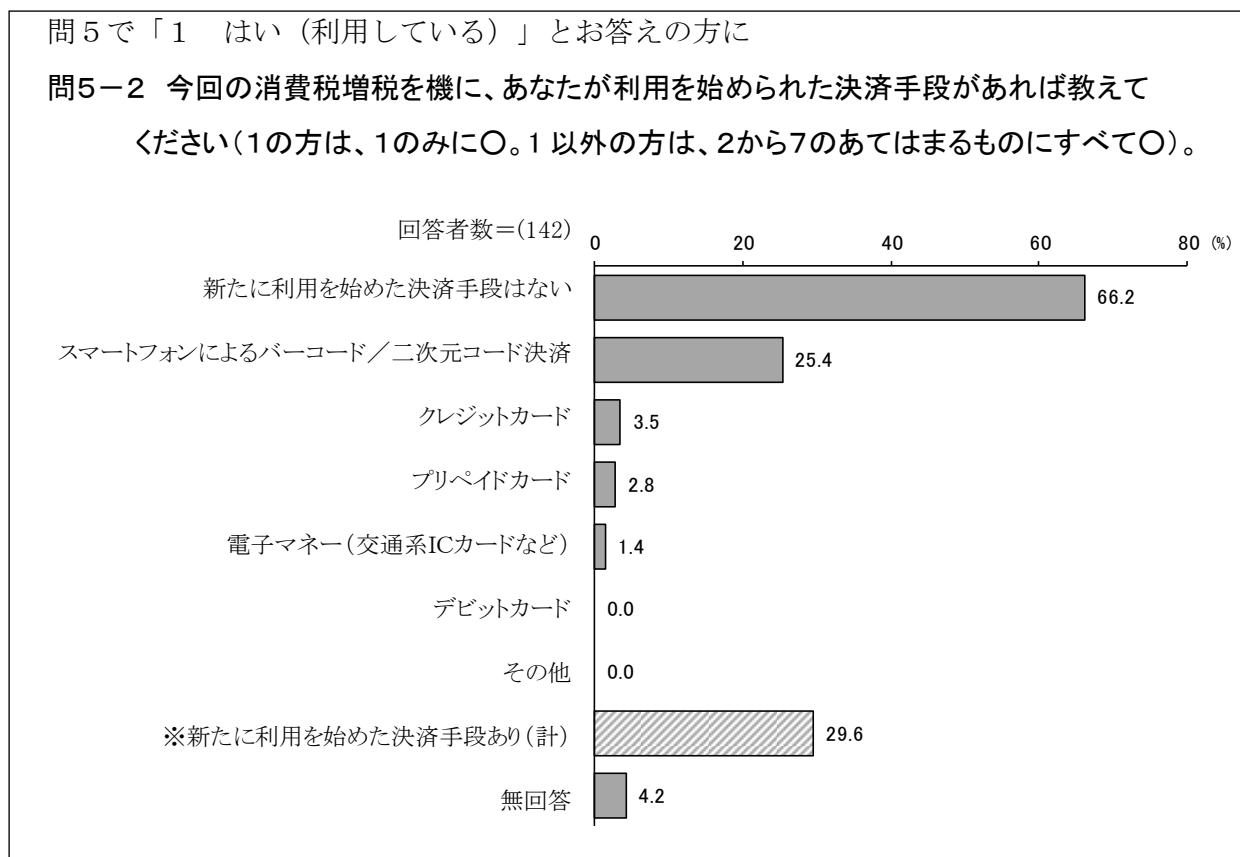


- キャッシュレス決済手段を「利用している」と回答した人に対して、現在利用している決済手段を聞いたところ、「クレジットカード」(93.0%)が9割強と最も高く、これに「電子マネー(交通系ICカードなど)」(72.5%)が7割強で続くが、以下はやや離れて、「スマートフォンによるバーコード/二次元コード決済」(35.2%)が3割台半ば、「プリペイドカード」(19.0%)が2割弱の順となっている。

5-3 消費税増税を機に利用し始めたキャッシュレス決済手段

問5で「1 はい(利用している)」とお答えの方に

問5-2 今回の消費税増税を機に、あなたが利用を始められた決済手段があれば教えてください(1の方は、1のみに○。1以外の方は、2から7のあてはまるものにすべて○)。

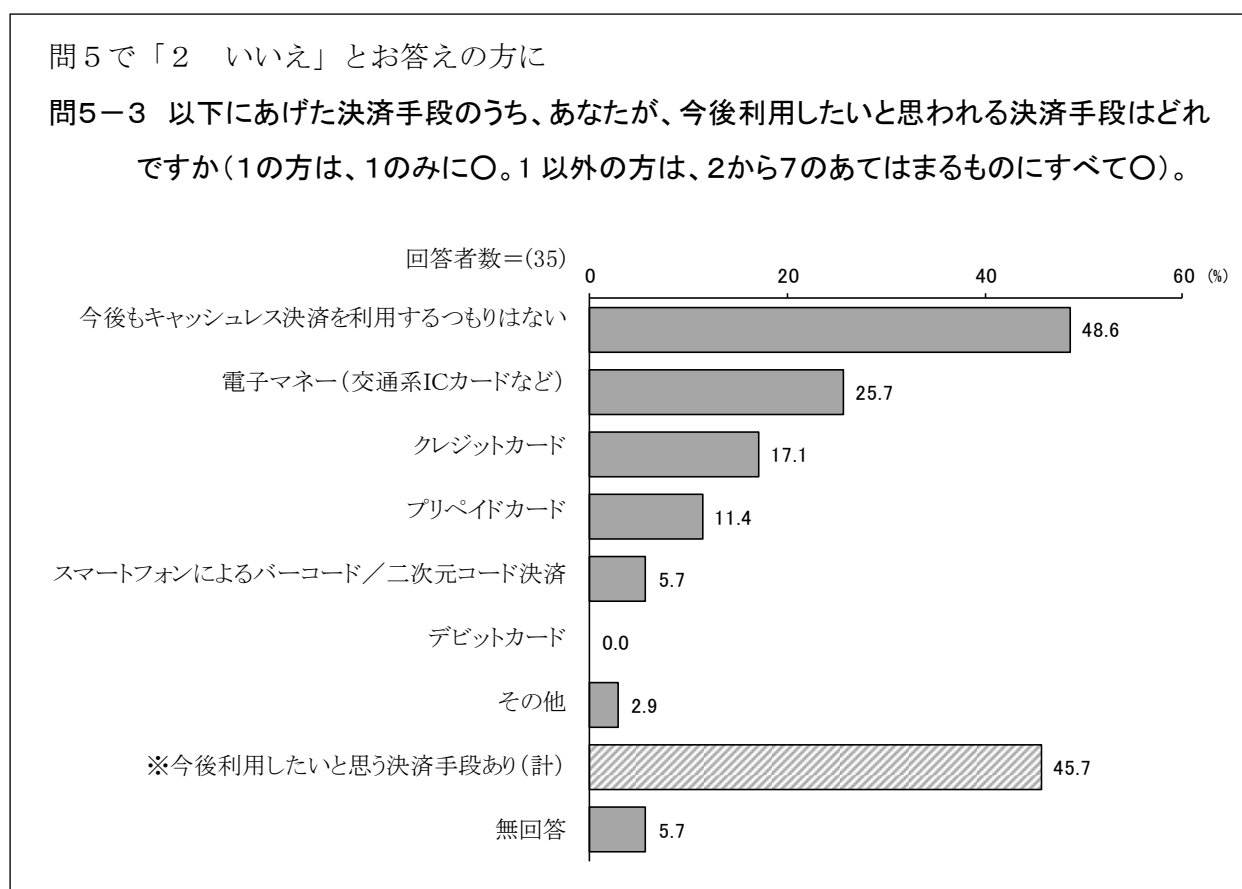


- キャッシュレス決済手段を「利用している」と回答した人に対して、今回の消費税増税を機に利用を始めた決済手段を聞いたところ、「新たに利用を始めた決済手段はない」(66.2%)が6割台半ばで最も高くなっており、【※新たに利用を始めた決済手段あり(計)】(29.6%)は3割に満たないものの、その中では「スマートフォンによるバーコード/二次元コード決済」(25.4%)が2割台半ばを占めて高い。
- この結果を、前ページの間5-1の結果と併せてみると、「スマートフォンによるバーコード/二次元コード決済」の現利用者(50名)の72.0%に相当する36名が、消費税増税を機に、このコード決済手段を利用し始めたことが判る。

5-4 今後利用したいと思うキャッシュレス決済手段

問5で「2 いいえ」とお答えの方に

問5-3 以下にあげた決済手段のうち、あなたが、今後利用したいと思われる決済手段はどれですか(1の方は、1のみに○。1以外の方は、2から7のあてはまるものにすべて○)。



- 次に、キャッシュレス決済手段を「利用していない」と回答した人に対して、今後利用したい決済手段を聞いたところ、「電子マネー(交通系ICカードなど)」が25.7%、「クレジットカード」が17.1%、「プリペイドカード」が11.4%となっており、これらを合わせた【今後利用したいと思う決済手段あり(計)】(45.7%)は4割台半ばとなるが、「今後もキャッシュレス決済を利用するつもりはない」(48.6%)が5割弱で最も高くなっている。

6 足立区に期待する増税の影響軽減支援策

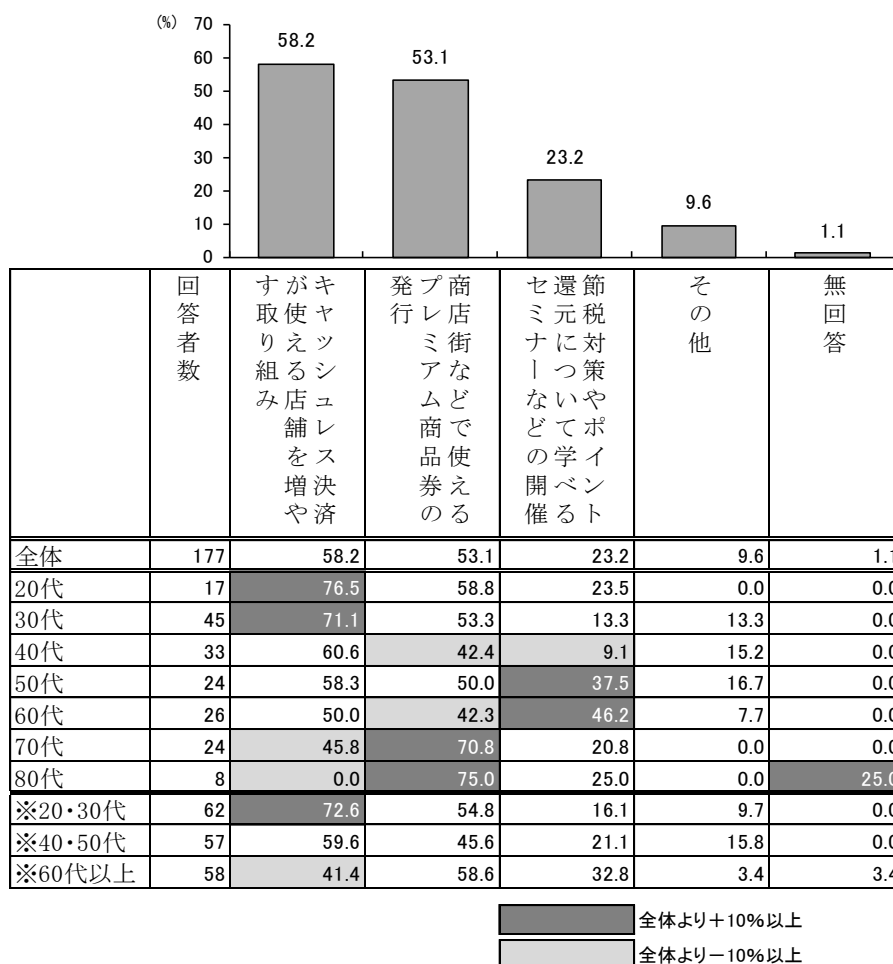
【現状】

足立区に期待する増税の影響軽減支援策（問6）【回答者数 177名】

- 「キャッシュレス決済が使える店舗を増やす取り組み」が6割弱、「商店街などで使えるプレミアム商品券の発行」が5割強で、この2項目はともに半数を超えており、「節税対策やポイント還元について学べるセミナーなどの開催」が2割強で続いている。
- これら3項目に対する反応には年代差がみられ、『使える店舗を増やす』は20・30代の若年代層で高い一方、『プレミアム商品券の発行』は70代以上で、『セミナーなどの開催』は50代と60代で、それぞれ高くなっている。

6-1 足立区に期待する増税の影響軽減支援策

問6 国では、生活に対する増税の影響を軽減するため、キャッシュレス・ポイント還元事業(特定の店舗でキャッシュレス決済をした場合、ポイントが還元される事業)を行っています。足立区には、どのような支援策を期待しますか(あてはまるものにすべて○)。



※10 才刻みの年代別のクロス集計は、サンプル数が30未満の年代も含まれるため、参考値として掲載。

- 足立区に期待する増税の影響軽減支援策を聞いたところ、「キャッシュレス決済が使える店舗を増やす取り組み」(58.2%)が6割弱で最も高く、「商店街などで使えるプレミアム商品券の発行」(53.1%)が5割強で続き、この2項目は半数を超えているが、「節税対策やポイント還元について学べるセミナーなどの開催」(23.2%)は2割強となっている。
- 3項目ともに年代差がみられ、「キャッシュレス決済が使える店舗を増やす取り組み」は若年代層(72.6%)で高く、他の2項目は年代別のサンプル数に留意が必要なものの、「商店街などで使えるプレミアム商品券の発行」は70代(70.8%)以上で、「節税対策や

第3章 調査結果の分析(足立区に期待する増税の影響軽減支援策)

ポイント還元について学べるセミナーなどの開催」は50代(37.5%)と60代(46.2%)で、それぞれ高くなっている。

7 「消費税増税」についての意見

問7 消費税増税について、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

消費税増税について、自由に記述してもらったところ、アンケート回答者のほぼ3人に2人に相当する119人から回答を得たので、それらの回答を要素別にまとめた上で、抜粋して掲載する。

(各1人の回答内容から複数の要素を抜粋している場合があるので、件数の合計は回答者数を上回っていることに留意)

■ 増税分の税金の使い道について (22件)

- ・ 増税した分だけ社会が良くなっていけば良いが、あまり感じる機会が少ないと思う。どのように税が増えた分だけ良くなったのか知る機会が増えると、もっと税を身近に感じられると思います。
- ・ 年金、医療に使うことが本来の目的なので確実に実施してもらいたい。
- ・ 子育て世代への色々な還元を望む。
- ・ 消費税の具体的な用途を明快に速やかに公示してもらいたい。
- ・ みんなが苦勞して納めている税金なのだから、無駄遣いをせず有効に使って欲しいです。
- ・ 増税した税金を本当に国民のための福祉等に使ってほしい。
- ・ 増税分を災害対策や学校教育に利用してもらいたいと思う。また、増税した分を何に利用したのかを知りたいとも思う。

■ 消費税増税に反対 (20件)

- ・ 物価上昇のさなか8%、10%と税率が引き上げられてくると、とくに高齢世代においては不安そのものです。
- ・ 子どもを育てるためにかかるお金が減っても、生きるためのお金が増えていくのでは、結局負担が多くなるばかりで、なんのために増税しているのかよく分からない。
- ・ 還元などするくらいなら増税などしないでほしい。
- ・ できれば8%、5%に戻していただきたいと思います。
- ・ 医療や国の借金を減らすなどで使うなら賛成でしたが、教育無償化や新しい子育て支援に使うことになったと聞いた時はやめて欲しいと思いました。今は減税を願っています。
- ・ 入ってくる金額が少ないのに消費税だけ上がっていってしまう、食生活にかかわるものだけはもう少し下げてほしい。

■ 区への要望 (20 件)

- ・ 昨年のプレミアム商品券 5000 円プラスはとても助かりました。消費者や商店にもお互いとても良い事なので今後も続けてほしいと思います。
- ・ キャッシュレス決済は、区民の中でフォローが必要な方に情報が届くようにしたり、講座を開いたり、区として何か独自に取り組んで欲しいと思います。災害時も安定して使えるようフォローするとか、子ども向けにキャッシュレス決済の注意点を学べる講座を開くとか、お年寄りに優しいキャッシュレス決済を提案するとか。期待しています。
- ・ 区のプレミアム商品券は子育て支援や低所得者向けだったりするので、区民全体に向けての同じようなサービスを期待します。
- ・ キャッシュレス・ポイント還元が終わる 7 月 1 日以降の落ち込みに留意しているので、プレミアム商品券の発行等の地域振興につながる支援策を実施してもらえれば助かる。
- ・ 足立区の商店街や個人経営のお店は現金払いばかりで、キャッシュレス決済やクレジット決済をあまり使用できない。決済手段が現金のみのお店は良い商品を扱っていても時代に取り残されて倒産してしまうのではと思ってしまう。区が支援して防止してほしいと思う。
- ・ 小さな子どもがいる世帯にプレミアム商品券の発行がされとても助かった。今後も実施してほしい。
- ・ プレミアム商品券の発行にあたって、子どもがいるにもかかわらず同じ幼稚園内でももらえた家庭、もらえない家庭があり不平等感を感じました。
- ・ 消費税増税による負担感を少しでも軽減できる支援策を足立区に期待いたします。
- ・ 「あだち」広報にキャッシュレスの還元ポイントや Pay などのキャッシュレスが進んでいることをわかりやすく載せれば高齢者のキャッシュレス利用者が増えるかなと思います。

■ 税金がきちんと有効に使われるなら、増税もやむを得ないと思う (19 件)

- ・ 増税しないとできない事があるので仕方ないと思っています。ただ、本当に増税しないといけなのか、消費税の詳細な内訳を国民に教えてほしいと思いました。
- ・ 子どもたちの為に増税はしかたないこと。ちゃんと借金を減らしてほしい。
- ・ 消費税増税は仕方ないですが、正しく、目的通り使われていることが前提です。
- ・ 消費税は反対ではありませんが、増税が決まった当初言っていた使い道と変わってしまったことに憤りを感じます。
- ・ 国の財政を考えると、増税は致し方ないと思うのですが、今回のように“軽減税率”や“キャッシュレス決済によるポイント還元”を実施することで、増税する意味を失っているように思えます。
- ・ 増税はやむを得ないと思う。目的を明確にして、経済の向上などに有効に使っていただきたい。

- ・ 消費税は国民すべてに平等な税なので、増税も賛成である。国民の負担は少ないほうが良いが人生をトータルで考えるなら増税により国の赤字が少しでも少なくなるのなら、やむを得ない手段であると思います。

■ キャッシュレス決済について (16 件)

- ・ 消費税を上げたのにキャッシュレスの人は得をする。みんなの暮らしを支えるために税を増やしたのにスマホを活用している一部の人のみが得をするのは不公平しか感じない。
- ・ キャッシュレス決済等も確かに利点は多いですが韓国や中国のように万人に受け入れられるのは難しく、まずは一からキャッシュレスを浸透されるべき対策をとって欲しい。
- ・ キャッシュレスやポイント還元は利用しづらい。
- ・ キャッシュ決済は便利だから対象店をもっと増やして欲しい。
- ・ キャッシュレス・ポイント還元はありがたいが、正直クレジットカードなどは便利ながら、個人情報詰まっております、情報流出につながる恐れもあるので、どちらかというに使いたくないです。ポイントがついても有効期限などから、いつの間にか消失してしまうこともあるので、一見お得に見えて損する場合もあり、ポイントに期限がないようにして欲しいです。
- ・ 政府のキャッシュレス還元はありがたいと思っている。
- ・ 商店街(竹ノ塚駅付近)ではキャッシュレス決済が使える店舗が少ないように思います。
- ・ キャッシュレス決済によるポイント還元は不公平感(お年寄りには難しい、店側も導入のためのコストがかかる等)が大きいのではないのでしょうか。

■ 増税で生活が苦しくなっている (14 件)

- ・ 税金等が出ていくお金ばかりで苦しいです。
- ・ 子どもの習い事などの値段が高くなったり生活費が上がったのでどんどん一般家庭は辛くなる一方です。色々節約するしかない状態で、自営店の売り上げも上がらず悪循環になっています。
- ・ 年金生活者の生活は厳しくなっている。
- ・ 低所得者や年金のみの所得者には消費税増税は家計に大きく影響いたします。
- ・ 収入が増えるわけではないので、増税で出費ばかり増えて困ってしまいます。
- ・ 消費税増税はじわじわと家計の負担になっているように思う。
- ・ 生活が苦しいです。消費税は上がり、それだけでもとても大変なのに国保も払わなくてはいけません。毎日お金のことばかり考えて涙が出ます。

第3章 調査結果の分析(「消費税増税」についての意見)

■ 増税による購買行動の変化 (12 件)

- ・ 外食するにしても考えてしまい、今までよりは気軽に外で食べようかということが難しくなってきました。増税後は全てにおいて考えて買ったりするようになった気がします。
- ・ 年金での生活の為、無駄な物を購入しないようにしています。
- ・ 子ども用の服等、子どもに掛かるお金の節約を意識するようになった。
- ・ 節約を意識するようになり、大きな家具やおもちゃなどの購入を考えるようになった。
また、家族での外食を減らし家で作るようになった。
- ・ 外食すると10%になり、お友達との食事やカフェでコーヒーを飲む回数も少なくなりました。
- ・ 生活用品の買いだめはせず、なくなり次第お店で1つだけ買うなどするようにして、買い物に行く回数をなるべく減らし、無駄買いのないようにしています。

■ 消費税10%と軽減税率8%の判別がまぎらわしい (10 件)

- ・ 飲食店での、食べていくなら10%、持ち帰りなら8%というのが、ややこしい。
- ・ お酒は10%になったのに料理酒は8%のまま等、少しわかりにくいと思います。
- ・ 8%と10%はわかりにくいし、そんな紛らわしい制度ではなく、もっと国民皆が納得できるような方法で税を考えて欲しい。
- ・ イートインとテイクアウトの税率の違いなど知らないで損するシステムはお年寄りにとっては不公平だと思う。
- ・ お店によってはイートインの時は10%で、持ち帰りの時は8%にしているところもありますが、そう分けると持ち帰りと言ってその場で食べる賢い人もいそうな気がしますし、わざわざ分けるのだったら消費税は上げずに8%のままが良いのではないかと思います。

■ 消費税10%に納得のいかない商品がある (8 件)

- ・ 食品や日用品はすべて8%にするなど、生活に繋がるものは8%据え置きにしてほしい。食品も外食と分ける必要があったのかと思う。
- ・ ナプキン、子ども用おむつなども10%というところが悲しいです。
- ・ みりんが軽減税率対象外なのは納得がいかない。
- ・ 軽減税率の対象に学生が購入する教科書などが含まれていないことが不自然です。小学校に通う子どもがいる家庭では、学校で使う道具などは購入しなければならないものなので、このような物にも軽減税率をかけるべきです。

- キャッシュレス・ポイント還元事業が6月で終了することに不満・不安 (6件)
 - ・ キャッシュレスで消費者還元期間が6月までなので一時的なもの。消費税増税は苦しいです。
 - ・ キャッシュレス・ポイント還元が終わる7月1日以降の落ち込みに留意している。
 - ・ キャッシュレスでのポイント還元も6月までと言われており、7月以降還元がされないのであればキャッシュレスにする必要もないと思う。

- 増税の影響はあまり感じない (5件)
 - ・ 2%の増税で軽減税率(キャッシュレス還元)もあるためあまり生活に変化はありません。
 - ・ 食料品等の軽減税率と、キャッシュレス・ポイント還元により、消費増税の影響は“軽減”していると思われます。
 - ・ 日本は消費税が世界に比べると低いので、比較的劇的な変化は感じられない。

- 現行以上の消費税アップには反対 (4件)
 - ・ これ以上の増税はやめてもらいたいです。
 - ・ 消費税は10%で終わって欲しいです。
 - ・ 上がるのはここまでと決めて欲しい。

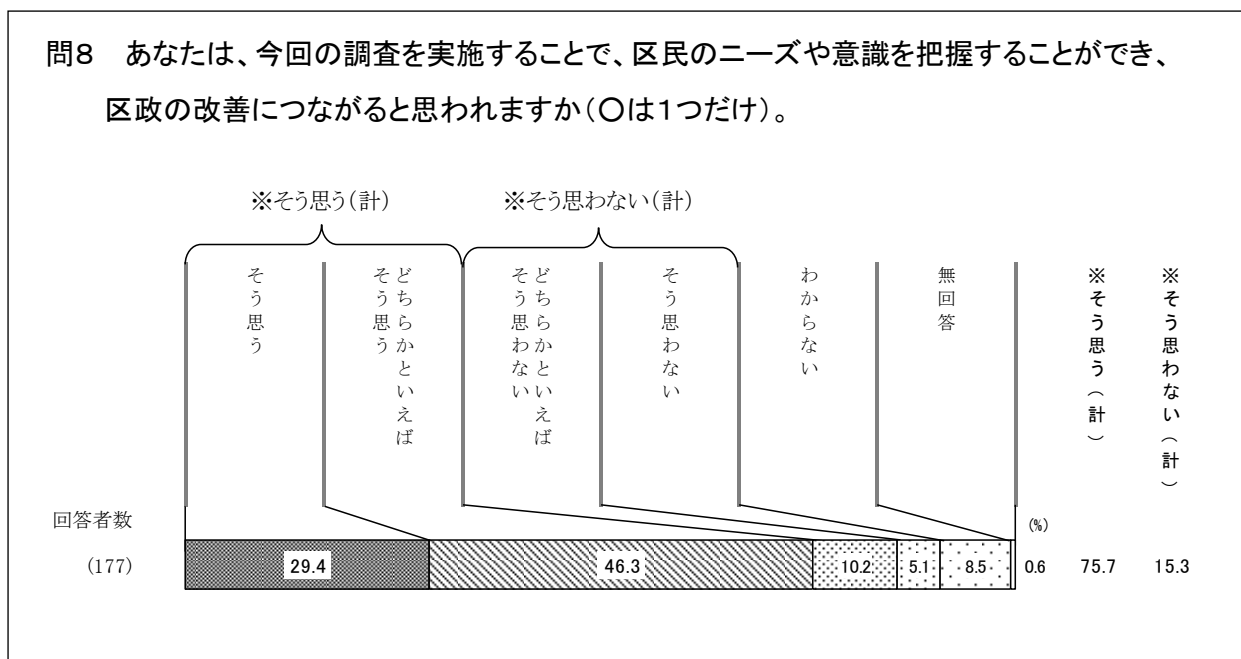
- 増税による景気の後退や悪化が心配 (2件)
 - ・ 給料が上がらないのに消費税がUPしてしまうと節約しなければいけなくなって景気がより悪くなると心配しています。
 - ・ この先も増税するかもしれないなどの話も聞こえるが、国内の景気を悪くするだけの結果しかない消費税増税は国の存在を危うくするとしか思えない。

第3章 調査結果の分析(「消費税増税」についての意見)

■ その他 (20 件)

- ・ 「老後は大変だよ」というマイナス情報ばかりが報道されるので、良い情報を知らせて、不安を払拭すること。安心してお金が使える社会になることを望みます。
- ・ 地域による経済や生活の実態ごとに工夫をして、居住者が暮らしやすさを感じるようにすることが必要ですが、かなり難しい課題だと思います。我儘でない意見のヒアリング傾聴と有識者の問題抽出力や方策を得ながら着実に推進していただけたら有難いと思います。
- ・ 消費税の増税に伴い、食料品や日用品の質が落ちたり量が減ったりという気付きにくい小さな影響が出ているなど感じます。
- ・ 値段表示を税込か税抜か統一して欲しいと思いました。
- ・ 2%の重みを感じています。
- ・ 国民からお金を巻き上げようとしている動きが否めない。不景気改善を国民にお願いする以外に、政治の汚職や政界の偏りにメスをいれ、不景気改善に取り組むのは難しいのでしょうか。
- ・ 軽減税率に対して混乱が生じるのではないかと不安を感じておりましたが、実際に施行後はトラブルもなくスムーズに会計が出来ていると感じます。

● アンケートの有効度



「そう思う」 (29.4%) と「どちらかといえばそう思う」 (46.3%) を合わせた【そう思う(計)】が 75.7%と7割台半ばに達して多数となっている。

第4章 調査票

●使用した調査票

※調査票内の集計母数（＝回答者数）について
特にサンプル数表記のない設問は、全数ベース（回答者数＝177）で集計しており、母数の記載を割愛した。
一部の該当設問については、設問ごとに該当母数を回答者数〇〇名で表記した。

モニター番号 _____ 番

（必ず記入してください）

令和元年度 第1回 区政モニターアンケート

《消費増税について》

令和元年10月に消費税が増税され、増税にあわせて軽減税率制度が導入されました。

今回、消費税増税に対する区民のみなさまの意識や消費行動等への影響を把握し、今後の施策に活かしていくため、アンケートを実施いたします。

ぜひ、ご協力をお願いいたします。

担当所属：産業政策課

問1 食料品を購入される際、あなたが、最もよく利用する場所はどこですか
(○は1つだけ)。

1 自宅周辺の小規模店	4.0%
2 コンビニエンスストア	2.3
3 スーパーマーケット (実店舗)	76.3
4 ドラッグストア	2.3
5 ショッピングセンター (スーパーマーケットや専門店などが集積する商業施設)	7.9
6 通信販売 (ネットスーパー含む)	2.8
7 その他	3.4
無回答	1.1

問2 10月の消費税増税導入後、消費活動をされる際に、あなたの生活に増税の影響をお感じになりますか (○は1つだけ)。

1 影響を感じる	62.1%	⇒ 問2-1にご回答ください
2 変わっていない (影響は感じない)	27.1	⇒ 問3へお進みください
3 どちらともいえない	10.2	⇒ 問3へお進みください
無回答	0.6	

(問2で「1 影響を感じる」とお答えの方に)

問2-1 あなたの生活の中で、どのようなところに増税の影響を実感しますか
(あてはまるものにすべて○)。 回答者数 110名

1 全般的に節約を心掛けるようになった	70.0%
2 軽減税率を気にするようになった	40.0
3 増税後に一部品目の買い控えをしている	17.3
4 キャッシュレス決済に対応できない店での購入を減らしている	26.4
5 ポイントの還元率を気にするようになった	42.7
6 その他	8.2
無回答	0.0

(ここから再び、すべての方におうかがいします)

問3 消費税増税前の9月までに、あなたは、商品やサービスについて、駆け込み購入や買いだめをされましたか(○は1つだけ)。

1	はい	43.5%	⇒ 問3-1、問3-2、問3-3にご回答ください
2	いいえ	55.9	⇒ 問4へお進みください
	無回答	0.6	

(問3で「1 はい」とお答えの方に)

問3-1 日常生活に関係するものについておうかがいします。

以下にあげた商品のうち、あなたが、増税前の9月までに買いだめされたものはどれですか(あてはまるものにすべて○)。 回答者数 77名

1	食料品	22.1%
2	ビール類・お酒	18.2
3	医薬品・医薬部外品	20.8
4	衣類	16.9
5	紙おむつ	24.7
6	たばこ	7.8
7	化粧品類	35.1
8	洗剤類	58.4
9	ティッシュ・トイレットペーパー	55.8
10	その他	15.6
	無回答	1.3

(引き続き、問3で「1 はい」とお答えの方に)

問3-2 増税前の9月までに買いだめされた量を平均すると、どれくらいですか(○は1つだけ)。 回答者数 77名

1	1週間分程度	13.0%
2	1カ月分程度	62.3
3	1年分程度	10.4
4	数年分程度	1.3
5	その他	11.7
	無回答	1.3

(引き続き、問3で「1 はい」とお答えの方に)

問3-3 以下にあげた高額商品やサービスのうち、増税を理由に、あなたが9月までに購入・利用された商品(サービス)はどれですか

(あてはまるものにすべて○)。 回答者数 77名

1 戸建住宅・マンション	3.9%
2 自動車・オートバイ	2.6
3 国内・海外旅行	7.8
4 趣味・レジャー用品	15.6
5 家具・インテリア用品	13.0
6 金融商品・定期預金・生命保険・損害保険	0.0
7 生活家電(冷蔵庫、洗濯機、電子レンジなど)	23.4
8 AV家電(テレビ・カメラなど)	5.2
9 携帯電話・スマートフォン	2.6
10 OA機器(タブレット端末・電子書籍端末・パソコンなど)	10.4
11 その他	6.5
12 購入・利用した高額商品・サービスはない(注)	18.2
無回答	18.2

※選択肢「12」は集計の段階で新設したもの

(ここから再び、すべての方におうかがいします)

問4 消費税増税に伴い、10月以降、あなたは、商品の買い控えやサービスの利用控えをされていますか(○は1つだけ)。

1 はい	35.0%	⇒ 問4-1にご回答ください
2 いいえ	65.0	⇒ 問5へお進みください
無回答	0.0	

(問4で「1 はい」とお答えの方に)

問4-1 以下にあげた商品やサービスのうち、あなたが、増税を理由に買い控えされている商品・サービスはどれですか(あてはまるものにすべて○)。

回答者数 62名

1	ビール類・お酒	27.4%
2	医薬品・医薬部外品	17.7
3	衣類	54.8
4	たばこ	6.5
5	自動車・オートバイ	9.7
6	国内・海外旅行	22.6
7	趣味・レジャー用品	41.9
8	家具・インテリア用品	22.6
9	電化製品(冷蔵庫、テレビ、カメラ、スマートフォン、パソコンなど)	32.3
10	その他の商品やサービス	19.4
	無回答	0.0

(ここから再び、すべての方におうかがいします)

問5 あなたは、クレジットカードやスマートフォンなどのキャッシュレス決済手段(現金を使わずに支払いをすること)を利用していますか(○は1つだけ)。

1	はい	80.2%	⇒ 問5-1、問5-2にご回答ください
2	いいえ	19.8	⇒ 問5-3にご回答ください
	無回答	0.0	

(問5で「1 はい」とお答えの方に)

問5-1 以下にあげた決済手段のうち、あなたが、現在利用されている決済手段はどれですか(あてはまるものにすべて○)。

回答者数 142名

1	クレジットカード	93.0%
2	電子マネー(交通系ICカードなど)	72.5
3	プリペイドカード	19.0
4	スマートフォンによるバーコード/二次元コード決済(○○payなど)	35.2
5	デビットカード	3.5
6	その他	0.7
	無回答	0.7

(引き続き、問5で「1 はい」とお答えの方に)

問5-2 今回の消費税増税を機に、あなたが利用を始められた決済手段があれば教えてください

(1の方は、1のみに○。1以外の方は、2から7のあてはまるものにすべて○)。

回答者数 142名

1	新たに利用を始めた決済手段はない	66.2%
2	クレジットカード	3.5
3	電子マネー(交通系ICカードなど)	1.4
4	プリペイドカード	2.8
5	スマートフォンによるバーコード/二次元コード決済(〇〇payなど)	25.4
6	デビットカード	0.0
7	その他	0.0
	無回答	4.2

(問5で「2 いいえ」とお答えの方に)

問5-3 以下にあげた決済手段のうち、あなたが、今後利用したいと思われる決済手段はどれですか

(1の方は、1のみに○。1以外の方は、2から7のあてはまるものにすべて○)。

回答者数 35名

1	今後もキャッシュレス決済を利用するつもりはない	48.6%
2	クレジットカード	17.1
3	電子マネー(交通系ICカードなど)	25.7
4	プリペイドカード	11.4
5	スマートフォンによるバーコード/二次元コード決済(〇〇payなど)	5.7
6	デビットカード	0.0
7	その他	2.9
	無回答	5.7

(ここから再び、すべての方におうかがいします)

問6 国では、生活に対する増税の影響を軽減するため、キャッシュレス・ポイント還元事業(特定の店舗でキャッシュレス決済をした場合、ポイントが還元される事業)を行っています。足立区には、どのような支援策を期待しますか

(あてはまるものにすべて○)。

1	商店街などで使えるプレミアム商品券の発行	53.1%
2	キャッシュレス決済が使える店舗を増やす取り組み	58.2
3	節税対策やポイント還元について学べるセミナーなどの開催	23.2
4	その他	9.6
	無回答	1.1

問7 消費税増税について、ご意見などございましたら、ご自由にお書きください。

問8 あなたは、今回の調査を実施することで、区民のニーズや意識を把握することができ、区政の改善につながると思われますか（〇は1つだけ）。

1	そう思う	29.4%
2	どちらかといえばそう思う	46.3
3	どちらかといえばそう思わない	10.2
4	そう思わない	5.1
5	わからない	8.5
	無回答	0.6

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。